



知的好奇心のススメ
～ 地図上のコンテンツから
コンテキストを読む
埼玉の魅力
海と中小河川が刻んだ台地を歩く
埼玉スリバチ学会 吉村忠

平成30年11月28日
第199回 河川文化を語る会

埼玉スリバチ学会のアプローチ HOW

～現場へ行き、現物を見て、現実を知る

三現主義

(現場、現物、現実)

頭の中の世界で完結させない

「百聞は一見しかず」

→五感で情報を得る

目的地までの経路、周辺にヒントあり (文脈を読む)

五ゲン主義

(現場、現物、現実、原理、原則)

埼玉スリバチ学会のアプローチ HOW

～原理・原則と現場、現物、現実の狭間で

- ▶ 「五感で得た情報」と「書物で得た情報」を組合せる
 - ▶ 地形発達史など時間軸の変化と空間の変化を理解していく
 - ▶ 歴史は1次情報、又はそれに近い情報に触れること
- ▶ 推論法の活用
 - ▶ 演繹法で思考する（原理、原則→個別の事象）
 - ▶ 帰納法で思考する（個別の事象→原理、原則）
 - ▶ アナロジー（類推、類比）を活用する
- ▶ 例えば
 - ▶ 江戸時代の街道筋、短冊状の地割 五日市街道の地割→川越街道では？
 - ▶ 層位学の基本法則→埼玉平野のボーリング図→古地形

視点：広さ

「埼玉の空は広い」！？

- ▶ 発言者は東京都在住の初参加者
- ▶ 場所はさいたま市西区~上尾市の荒川左岸農地の間を蛇行する台地上の古い道だった
周囲にビルはない
周囲一キロメートルの高い物体は木々だった



広さ...障害物のない空間と視野（幅と奥行き）、閉塞感がない
開放感の定義を考察したい
比較対象によって変わる

視点：開放感、閉塞感

暗渠歩き、谷巡りは面白い！？

閉塞感を考察する1

暗渠には、
先が見えない不安
と期待値がある

- ▶ 都市の中に川や谷があると
考えていない（意外性）
- ▶ 視界がさえぎられている
しかし、先がある
終わりがある
しかし、終わりはすぐ来ない



ある種のエンターテイ
メント性がある
(楽しませてくれるもの)

閉塞感を考察する2
谷の比高、視点の高度
視界にもよるが、
谷の中は閉塞感
谷の上は開放感



視点：大きさ（距離、速さ、時間）

見沼は大きいか、小さいか？

- ▶ ゆっくり歩く視点（平均速度2~4km /h）
 - ▶ 建物の詳細、マンホール、草花などに目が行く
- ▶ 早く歩く視点（平均速度5~7km /h）
 - ▶ 建物の概要、街並みの変化、起伏の変化
- ▶ 走る視点（平均速度7~36km）
- ▶ 自転車の視点（10~60km/h）
- ▶ 自動車、電車の視点（40~300km/h）
 - ▶ 街道筋の変化、地形の変化、河岸段丘！
- ▶ 飛行機の視点（200~1000km/h+高度）
 - ▶ 俯瞰、鳥瞰、地形の概要、

視点の移動時間によってサイズ感、
見える物は変わる



蛇行する見沼

カシミール3Dスパー地形セットで作成、Photoshopで加工

視点：時間の尺度

江戸時代は昔か、最近か？

▶ 歴史の尺度

- ▶ 県が成立して150年程度である。
- ▶ 歴史の尺度からすれば、埼玉県という行政区画は若い存在である
- ▶ 埼玉県は、律令制の確立（7世紀後半～8世紀前半）から江戸時代まで、東京都、神奈川県の一部を含む、「武蔵国」であった
- ▶ 乙巳の変（大化の改新）以前の武蔵国は、2分割されていたという説もある

▶ 地形発達史の尺度

- ▶ MIS5e~MIS1の時間軸...関東造盆地運動の進行、関東平野の成立、最終氷河期、気候変動と海退、海進の影響、利根川流路の変遷
- ▶ 日本列島形成の尺度
- ▶ 山地は付加体や三波川帯があるのでさらに長い尺度になる

平林寺の紅葉と野火止用水&川越道・膝折宿と湧水 (SSS51th)

武蔵野台地、平林寺残丘、黒目川の谷

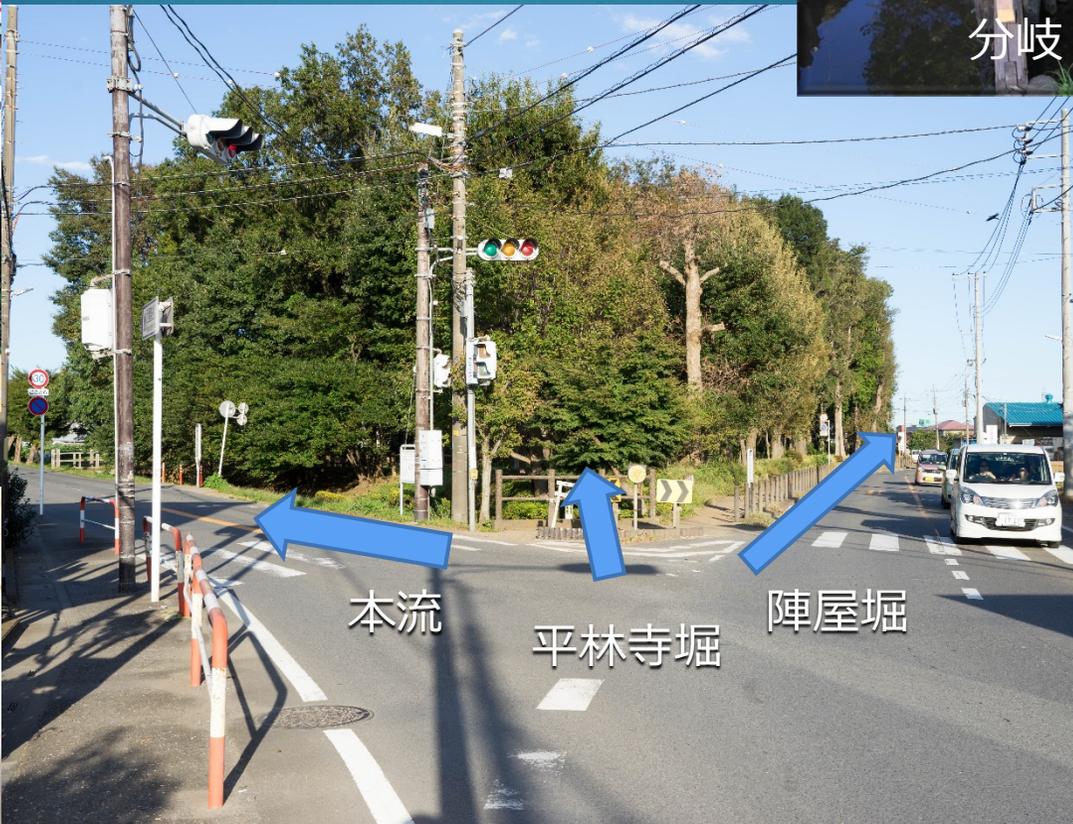
野火止用水、川越道、膝折宿、湧水

- ▶ 平林寺は、臨済宗妙心寺派で平林寺残丘に立地する寺院である
- ▶ 平林寺は、現在のさいたま市岩槻区平林寺に永和元年（1375）に創建され、寛文3年（1663）に野火止へ移転される
- ▶ 平林寺境内林（武蔵野の雑木林）は、国の特別天然記念物である
- ▶ 野火止用水は玉川上水とセットで計画された
- ▶ 平林寺の移転、玉川上水、野火止用水は、すべて川越藩主・松平伊豆守信綱がキーマンである
- ▶ 川越道の宿場は、水が豊富な谷を選ぶ



野火止用水の分水

本流、平林寺堀、陣屋堀



分岐



本流



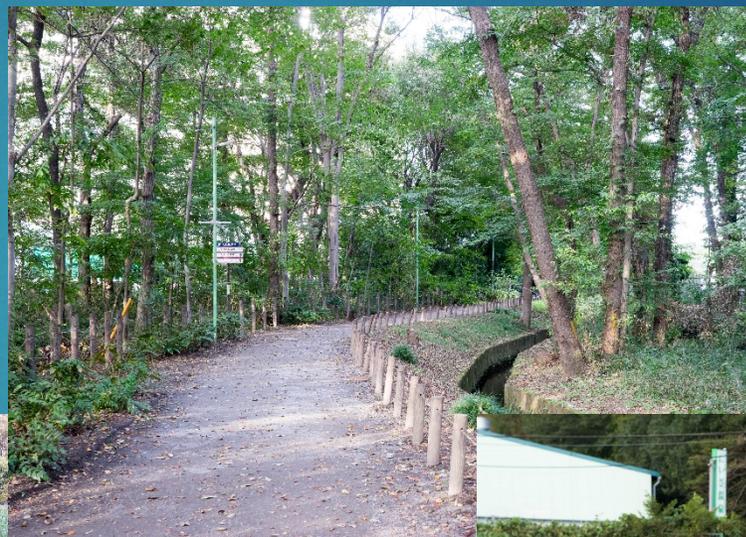
平林寺堀

野火止用水

本多緑道、ヤマ、野火止用水路橋

武蔵野の面影（雑木林）

文学に登場する土地
武蔵野(国木田独歩)は小手指
武蔵野夫人(大岡昇平)は村山貯水池
= 武蔵野台地の荒川水系



野火止用水路橋

野火止用水が関越自動車道
の上を現代版の掛渡井(カ
ケトイ)で通されている



ヤマ（雑木林）
武蔵野台地で雑木林
をヤマと呼ぶ



平林寺周辺の見所

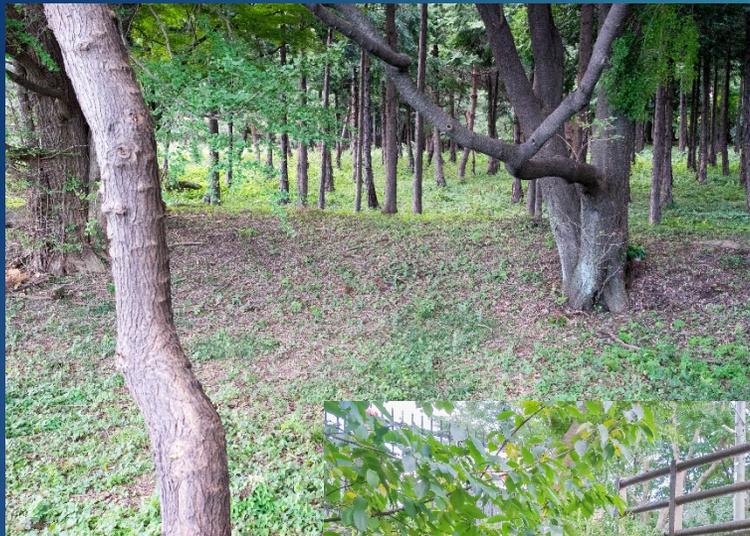
築堤遺構、伊豆殿橋、睡足庵

野火止用水（伊豆殿堀）

全長24km 承応4年（1655年）

玉川上水小平監視所～志木市宗岡

工法は素掘りと版築法。玉川上水7、野火止用水3で分水。玉川上水の開発は、埼玉県ゆかりの幕府老中、川越藩主・松平伊豆守信綱、水道奉行・伊奈忠治が管轄していた。



平林寺堀
築堤遺構



睡足庵

周辺五か村を支配した高崎藩・松平右京大夫家の「陣屋」があったところ。昭和の大茶人であり「電力の鬼」と呼ばれた実業家、松永安左工門(耳庵)氏はこの土地を購入し、屋敷地とした。



伊豆殿橋
脇には地藏尊



陣屋堀
築堤遺構

平林寺、平林寺残丘



平林寺境内

- ・ 350年前の山門
- ・ 平林寺堀
- ・ 玉川上水、野火止用水ゆかりの人物の墓所

松平信綱公一族の墓所

安松金右衛門、小畑助左衛門

など様々な見所がある



平林寺の紅葉と野火止用水&川越道・膝折宿と湧水 (SSS51th)

川越道の旧道、黒目川の谷、湧水、膝折宿



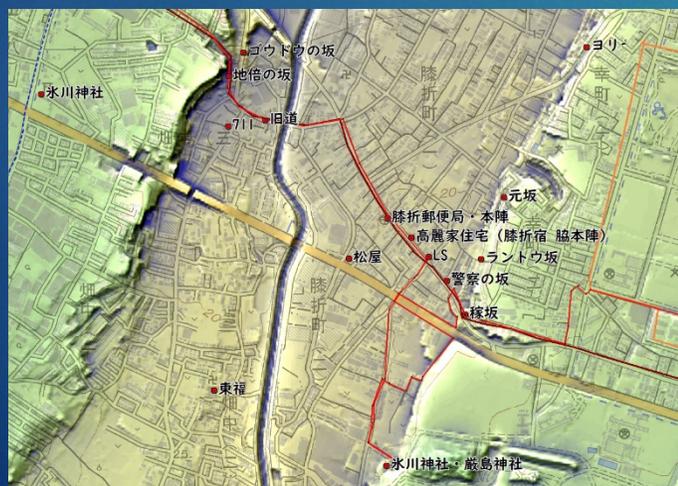
地倍の坂 (ちばいのさか)
旧川越街道、黒目川左岸



膝折宿 (ひざおりじゆく)
川越街道、黒目川右岸



稼坂 (かせぎざか)
旧川越街道、黒目川右岸



膝折
カシミール3Dスーパー地形セット、地理院地図



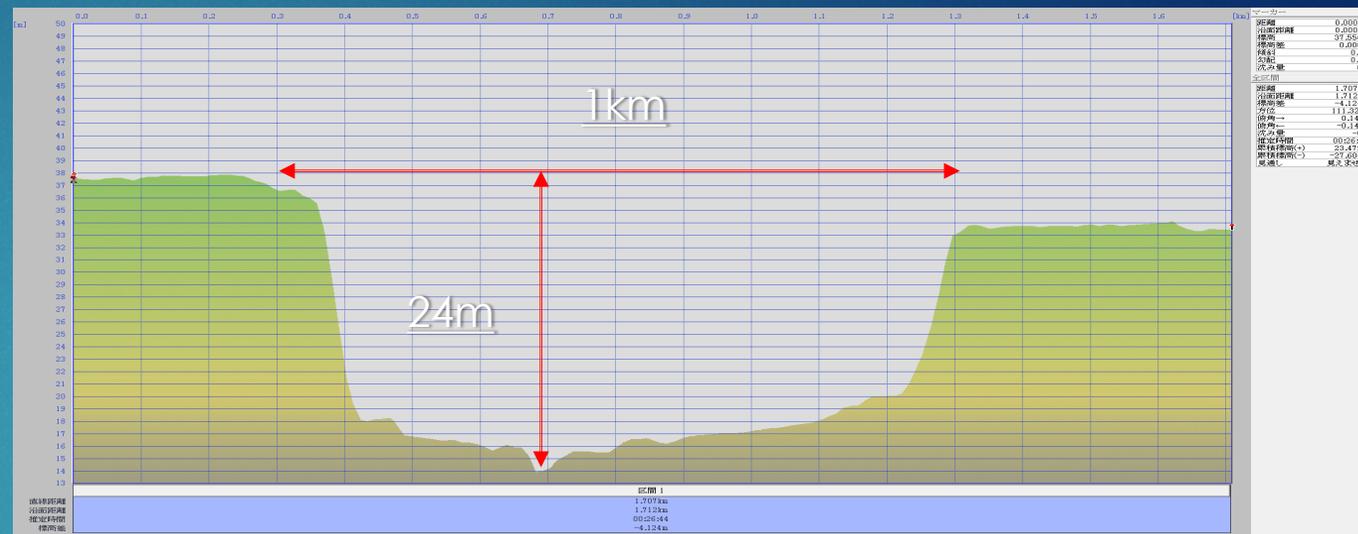
膝折宿図
新編武蔵風土記稿



子之神 (ねのかみ) 氷川神社
湧水、池、その下に滝

黒目川（くろめがわ）

- ▶ 荒川水系一級河川
- ▶ 延長17.3km
- ▶ 新河岸川が合流先
- ▶ 水源は小平霊園内の「さいかち窪」（2017年は久し振りにじゃぶじゃぶと水が湧いていた）
- ▶ 上流部は支流（出水川、楊柳川、落合川、立野川）から水が集まる
- ▶ 下流部は、比高が20m以上ある谷になっている場所もある
- ▶ 古多摩川の名残りと考えられている
- ▶ 古くは、久留米川・来目川・久留目川・来梅川と書かれた
- ▶ 妙音沢は流域の湧水として江戸時代から知られている



黒目川下流部 膝折付近の断面図
カシミール3Dスーパー地形で作成



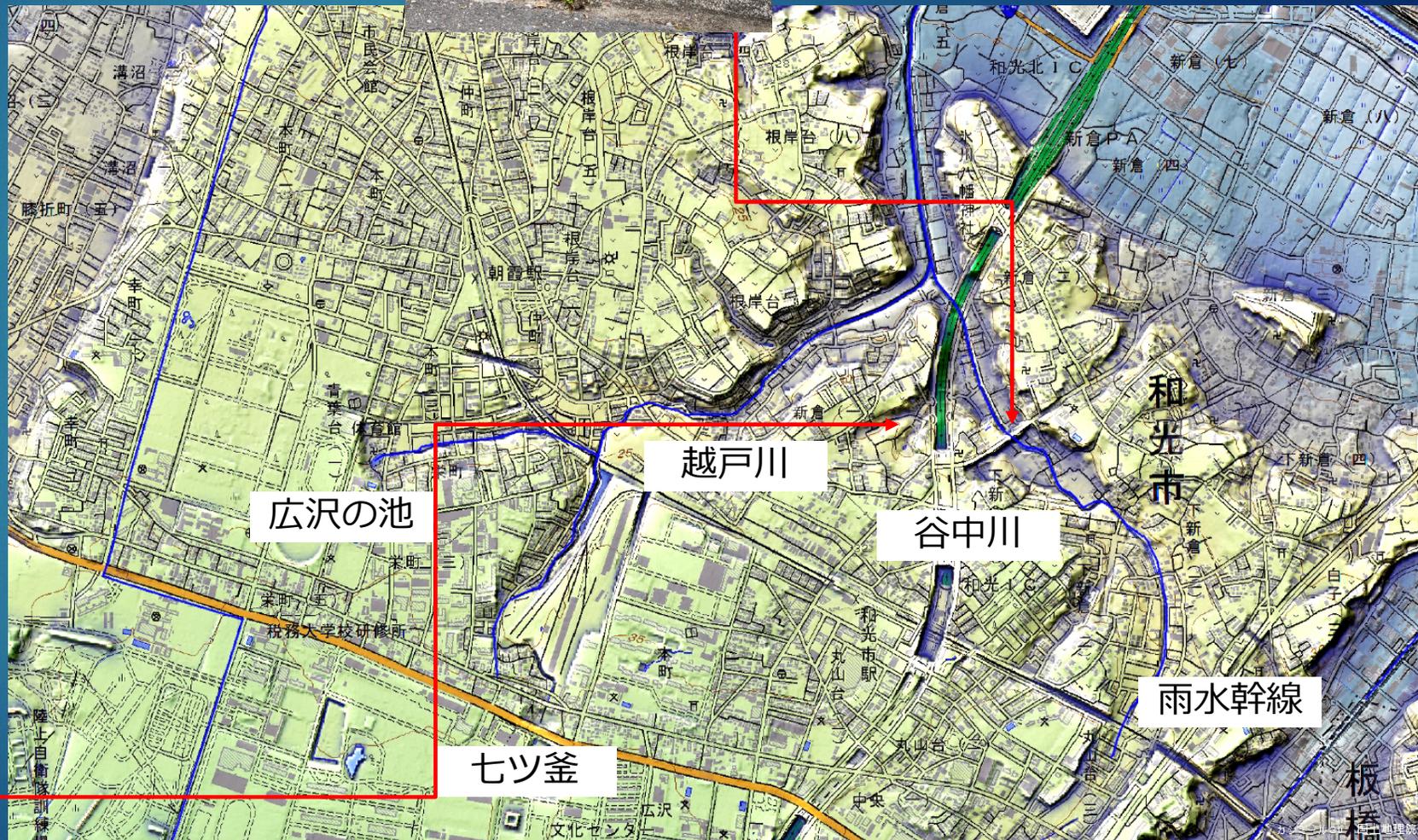
さいかち窪
2017年11月11日

越戸川（こえどがわ）



柿ノ木坂児童公園付近
谷中川の上流部は和光市の雨水幹線として管理されている

- ▶ 荒川水系一級河川
- ▶ 延長3.85km
- ▶ 水源は七ツ釜（陸上自衛隊朝霞駐屯地内）
- ▶ 東から一級河川・谷中川が越戸川へ合流する
- ▶ 支流に広沢の池を水源とする流路もある
- ▶ 武蔵野台地の湧水（宙水）が染み出る場所がある



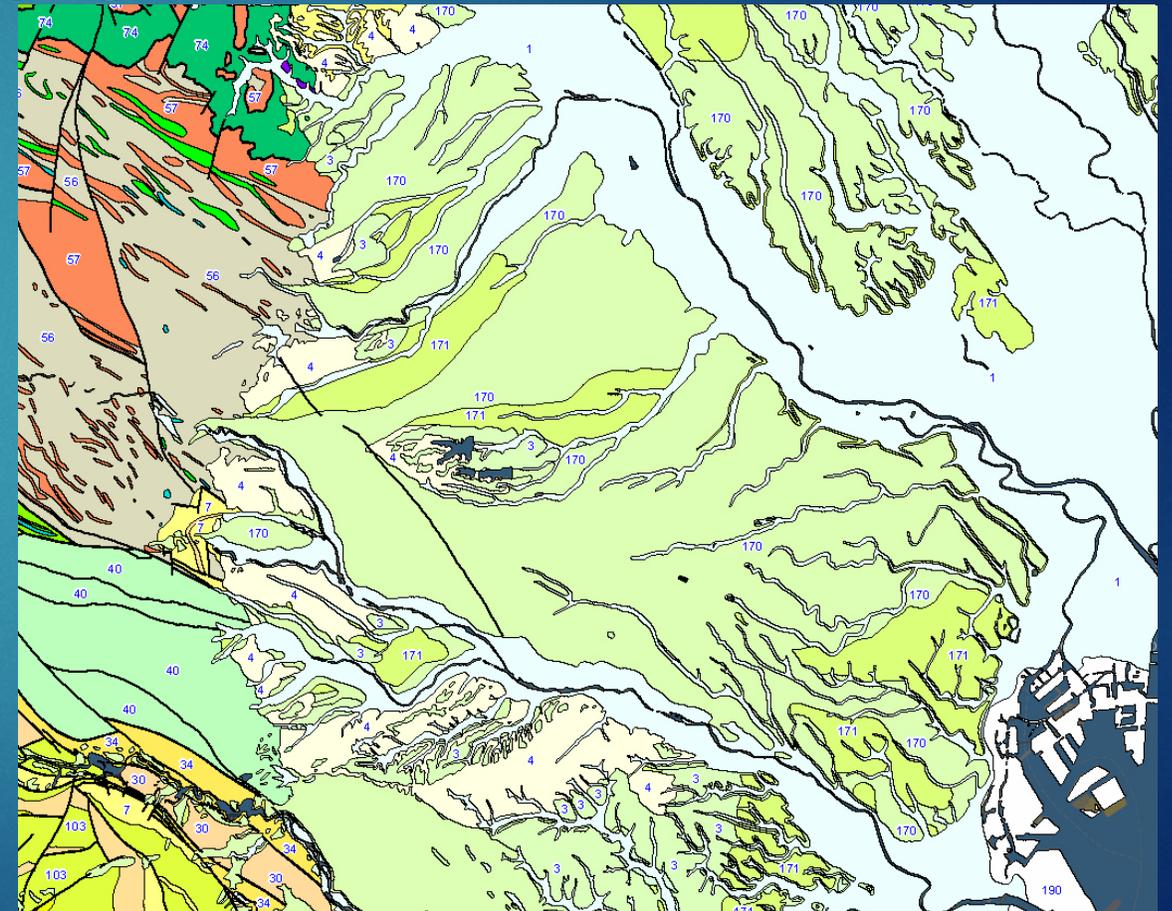
例) 柿木坂湧水公園

武蔵野台地の魅力

- ▶ 古多摩川の扇状地として形成された
- ▶ 台地上の湧水から小規模な水系が形成されている

武蔵野台地

- ▶ 西から東へ緩やかに傾斜している
- ▶ 関東ローム層が厚く堆積し、帯水層が深く、鹹水してしまう
- ▶ 宙水（帯水層）が露出する場所から川は始まる
- ▶ 狭山丘陵は、古多摩川の削り残し
- ▶ 玉川上水は井之頭公園付近まで多摩川水系と荒川水系の分水嶺辺りを通されている



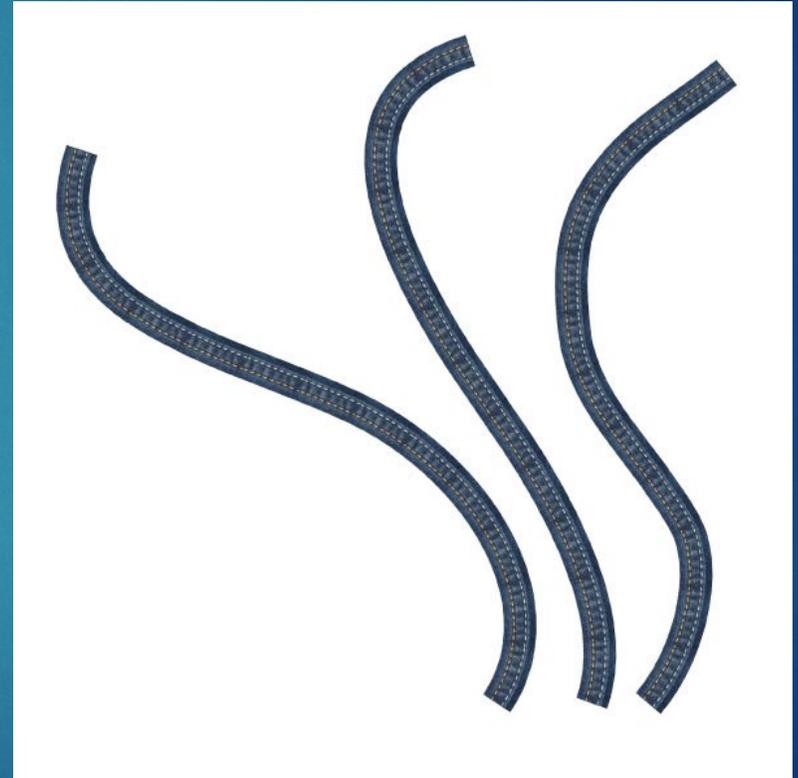
河川の種類と水の流れ

名称	管理	分類	法律・条令
一級河川	国土交通省	一級水系内の河川	河川法
二級河川	都道府県	二級水系内の河川	河川法
準用河川	市町村	一・二級河川の区間以外	河川法
普通河川	市町村	上記以外	市町村の条例

名称	状況
雨水幹線	かつて河川や悪水路だった所を使用するケースが多い
下水道	合流管、雨水管、污水管。合流管は地形を利用しているケースがある。
用水路	水利組合が管理する場合と、市町村に管理が移管された場合がある

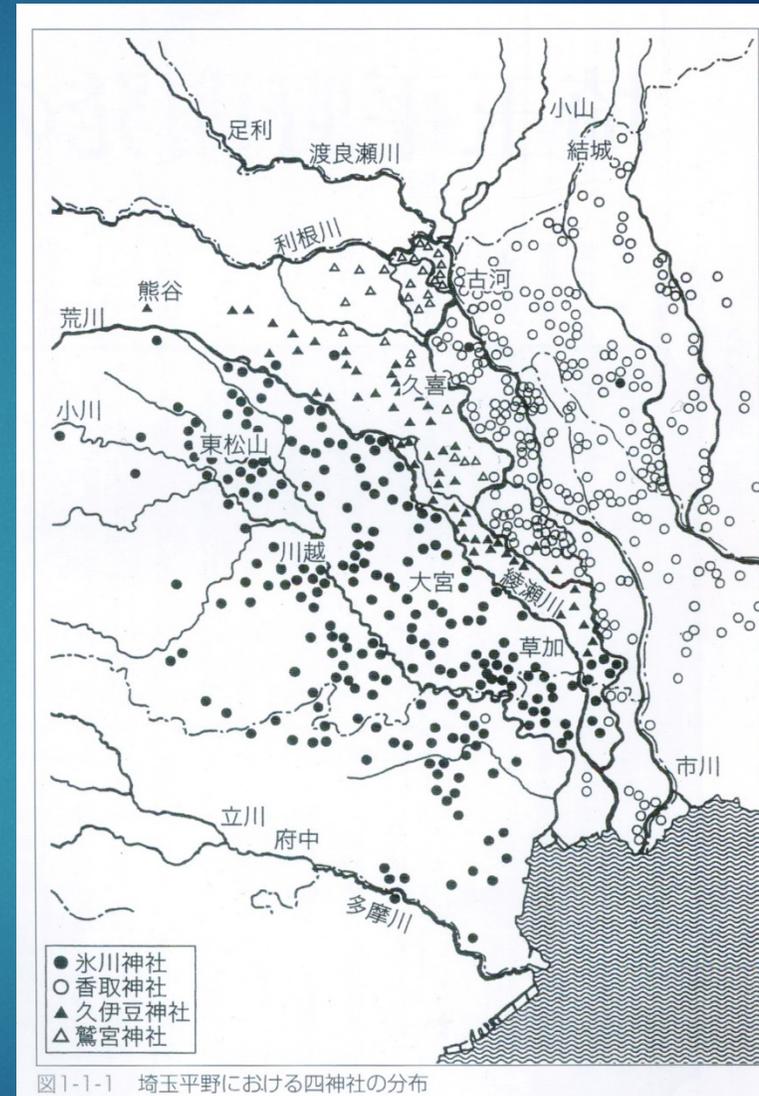
埼玉スリバチ学会のロゴ

- ▶ ロゴ SSS
Saitama Suribachi Societyの略
- ▶ 三本の河川
- ▶ 河川は台地の地形発達のファクターである

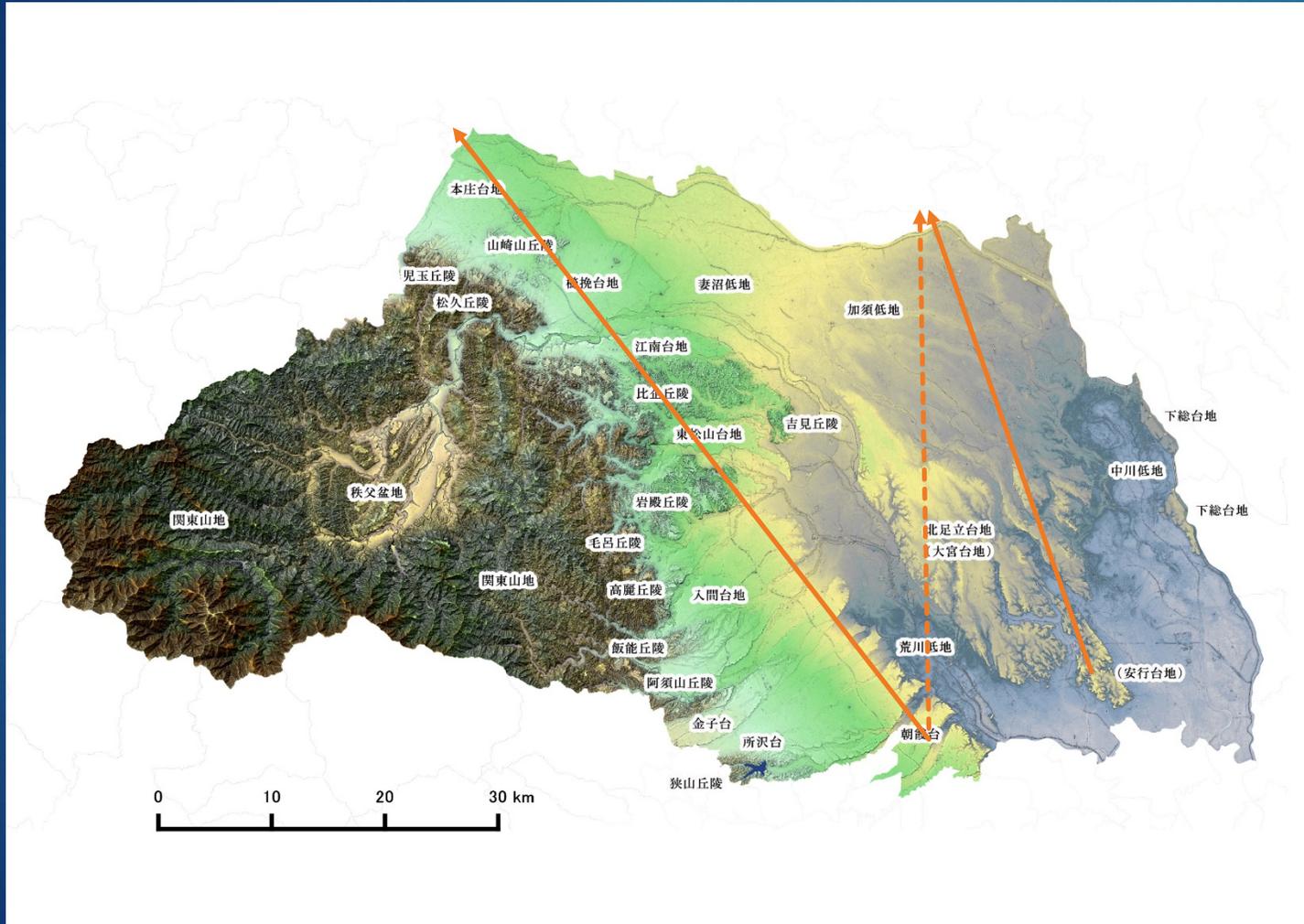


河川と境界 ...勢力、文化、信仰

- ▶ 古代利根川流路の以東は香取神社の分布域
香取神社は藤原摂関家と関係が深い
- ▶ 綾瀬川の以西は氷川神社の分布域
氷川神社は律令制国家との関係が深い
- ▶ 古代利根川流路と綾瀬川の間は鷲宮神社と久伊豆神社の分布域
両神社は国家権力と関係が強くない
埼玉郡域である
鷲宮神社分域は、中世の有力な港・八甫がある
中世の中心地・岩付、忍は久伊豆神社分布域



埼玉県全域の地形分類



- ▶ 西高東低の地形
- ▶ 関東山地沿いに丘陵地、北武蔵台地
- ▶ 関東山地から流れる川により台地が分割されている
- ▶ 入間台地以南は武蔵野台地に分類される
- ▶ 北足立台地（大宮台地）は荒川低地、加須低地、中川低地に囲まれている

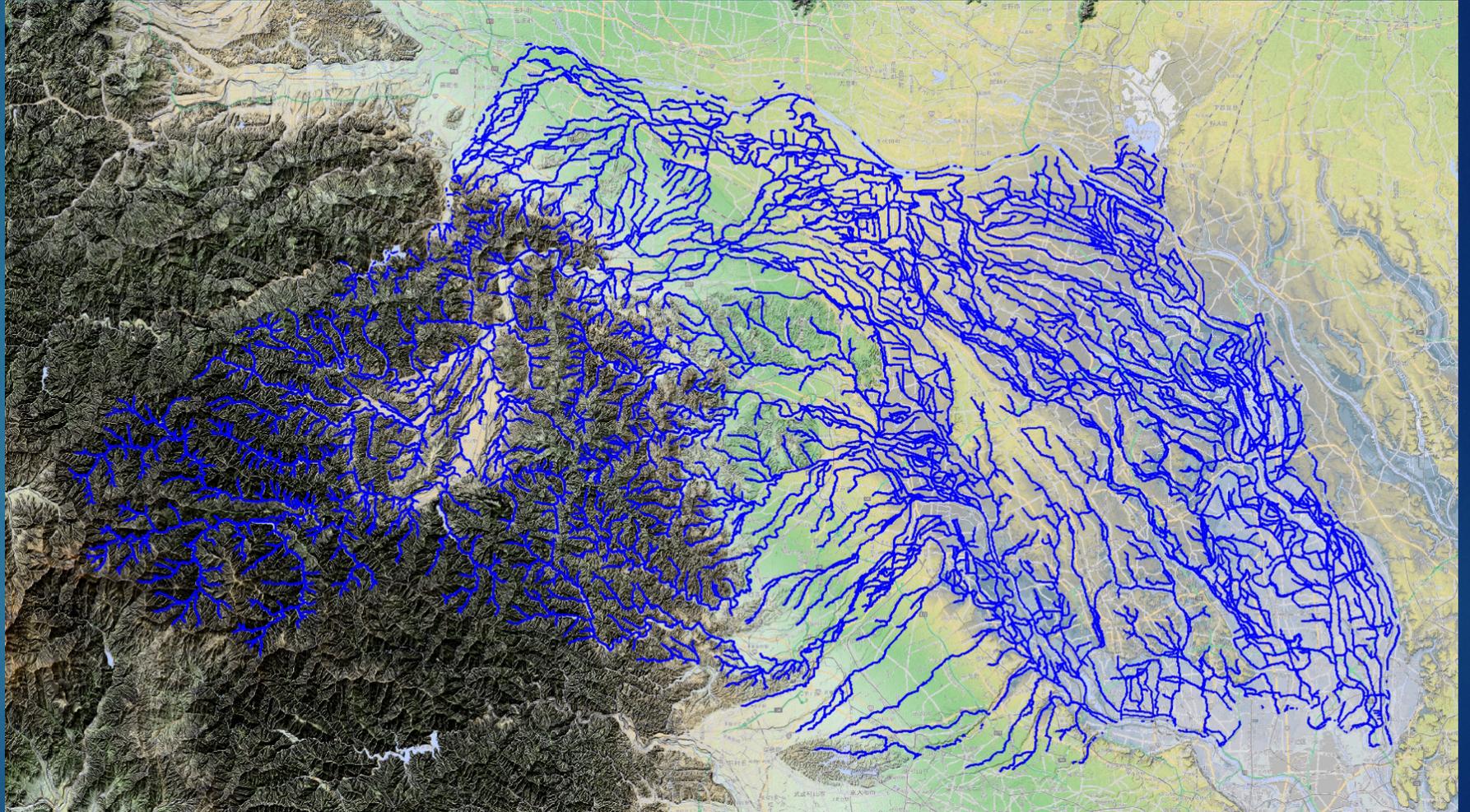
地形分類でみた埼玉県

この地図は国土調査による20万分の1土地分類基本調査（地形分類図）【埼玉県】

（1973）を使用し「カシミール3Dスーパー地形セット」を使用して埼玉スリバチ学会が作成

視点：河川で見る埼玉県

- ▶ カシミール3Dはスーパー地形セットにより作業が楽になった
- ▶ 国土地理院は国土数値情報で河川台帳データを公開している
- ▶ 河川の方に注目
 - ▶ 傾斜
- ▶ 河川の密度に注目
 - ▶ 毛細血管の如く



カシミール3Dスーパー地形セットに国土数値情報（統一フォーマット(SHP・GML)）河川台帳データを合成

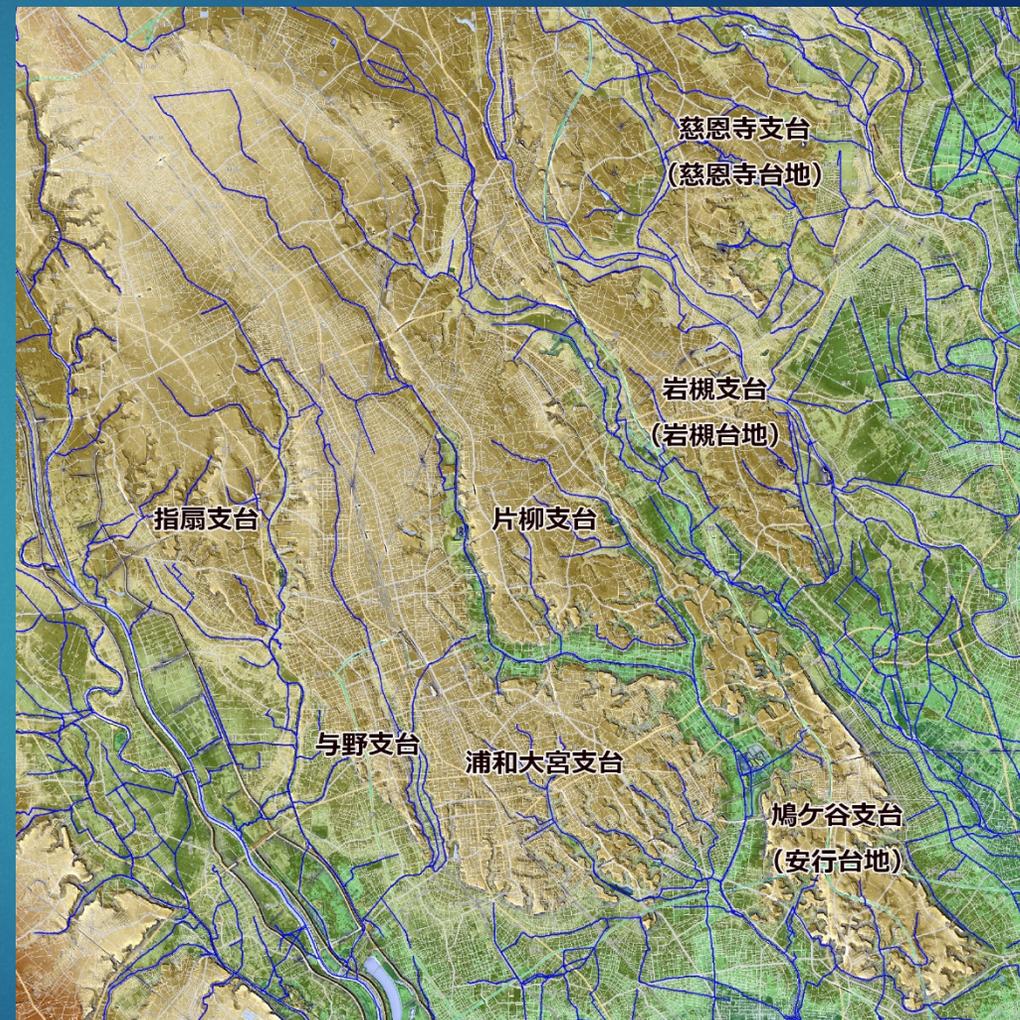
視点：複数コンテンツの組み合わせ ～コンテンツを串刺しにして文脈を埋める

- ▶ 現代の地図を使い分ける
 - 地図によって得意分野がある 例) 境界線、様々な施設の分布
- ▶ 地図に様々な情報を加えて考察する
 - ▶ 土地の標高、地形分類図（広義、狭義）
 - ▶ 古地図、絵図（迅速測図、今昔マップ、東京時層地図、江戸時代の絵図、論文）
 - ▶ 二級河川より小さな水系（市町村の河川図、雨水、下水道図など）
 - ▶ 遺跡の位置（遺跡マップ）
 - ▶ 寺社の分布、史跡の位置（一般的な地図、史跡マップ）
 - ▶ 時代毎の道の変遷（考古学調査ベース、各市市町村の書物）
 - ▶ 時代毎の水の道（古代、中世、近世の流路と河岸に関する専門書）
 - ▶ 河川と国境、郡境の関係性（河川の専門書、論文）
 - ▶ 地下の情報、地質、中央構造線、大地溝帯（ボーリング図、反射法地震探査断面）

視点：アナロジー（類比、類推）

さいたま市 七つの丘

- ▶ 埼玉スリバチ学会の立ち上げの前に、ローマの七つの丘を巡った
 - ▶ 東京スリバチ学会のプレゼンで東京にも七つの丘があると言っていた
 - ▶ さいたま市にはないのだろうか？
 - ▶ ...あるよ！
 - ▶ コロッセオはさいたまスタジアム！
 - ▶ チルコ・マッシモは浦和競馬場！
 - ▶ トレビの泉は大宮氷川神社！
 - ▶ 「七つの丘」は、多くの地域に作れる！
- しかし、ローマほどの価値はないだろう



カシミール3Dスーパー地形セットに国土数値情報（統一フォーマット(SHP・GML)）河川台帳データを合成、加工

大宮台地の地形分類

~中小河川によって分断された台地

地形分類図		主な市町村	郡名	地質	堀口万吉氏 地形分類Ⅰ	堀口万吉氏 地形分類Ⅱ
大宮台地		さいたま市 ~上尾市、桶川市、 北本市、鴻巣市	足立郡	大宮面	大宮台地 (北足立台 地)	1 浦和大宮支台
岩槻台地	蓮田台地 (北部)	蓮田市	埼玉郡			2 与野支台
	岩槻台地 (南部)	さいたま市 (旧岩槻市)				3 片柳支台
慈恩寺台地						4 指扇支台
安行台地		さいたま市 川口市 (旧鳩ヶ谷市を含む)	足立郡	主に木下面 一部に大宮面		5 岩槻支台
白岡台地		白岡市	埼玉郡	大宮面		6 慈恩寺支台
-		鴻巣市 (旧笠原村)				7 鳩ヶ谷支台
					白岡支台	
					笠原支台	

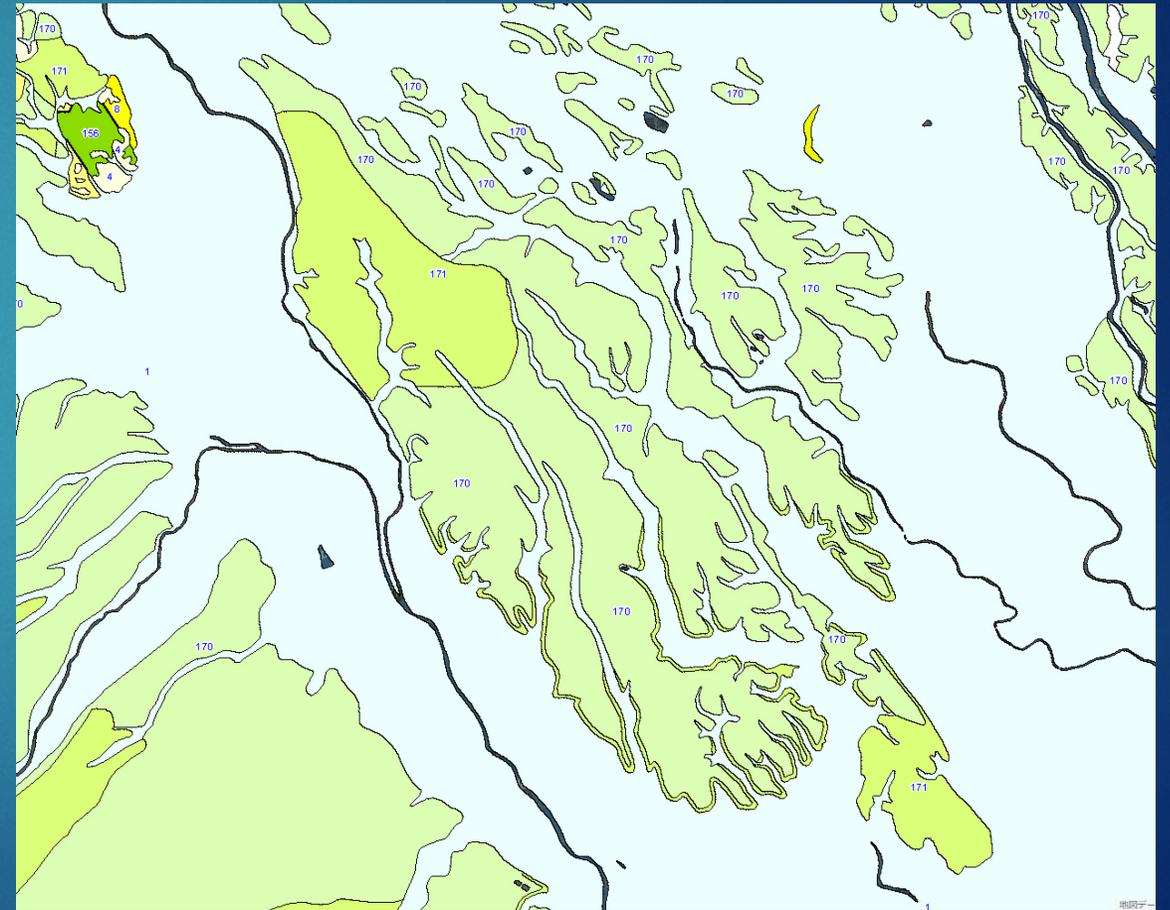
大宮台地の魅力

- ▶ 山地から河川により分断された台地である
- ▶ 台地上の湧水から水系が形成されている

大宮台地

- ▶ 鴻巣付近を最北端とする大宮台地は、大河が流れた加須低地、中川低地、荒川低地と川口低地に囲まれている
- ▶ 南部は谷が深く、崖が急峻である
- ▶ 硬砂層の推定分布域は比高がある（例：北本）
- ▶ 綾瀬川低地沿いの崖が急峻である
- ▶ 大宮層の上に常総粘土層がある

地質調査所及び産総研地質調査総合センター発行
20万分の1日本シームレス地質図V2から抜粋
<https://gbank.gsj.jp/seamless/v2full/>



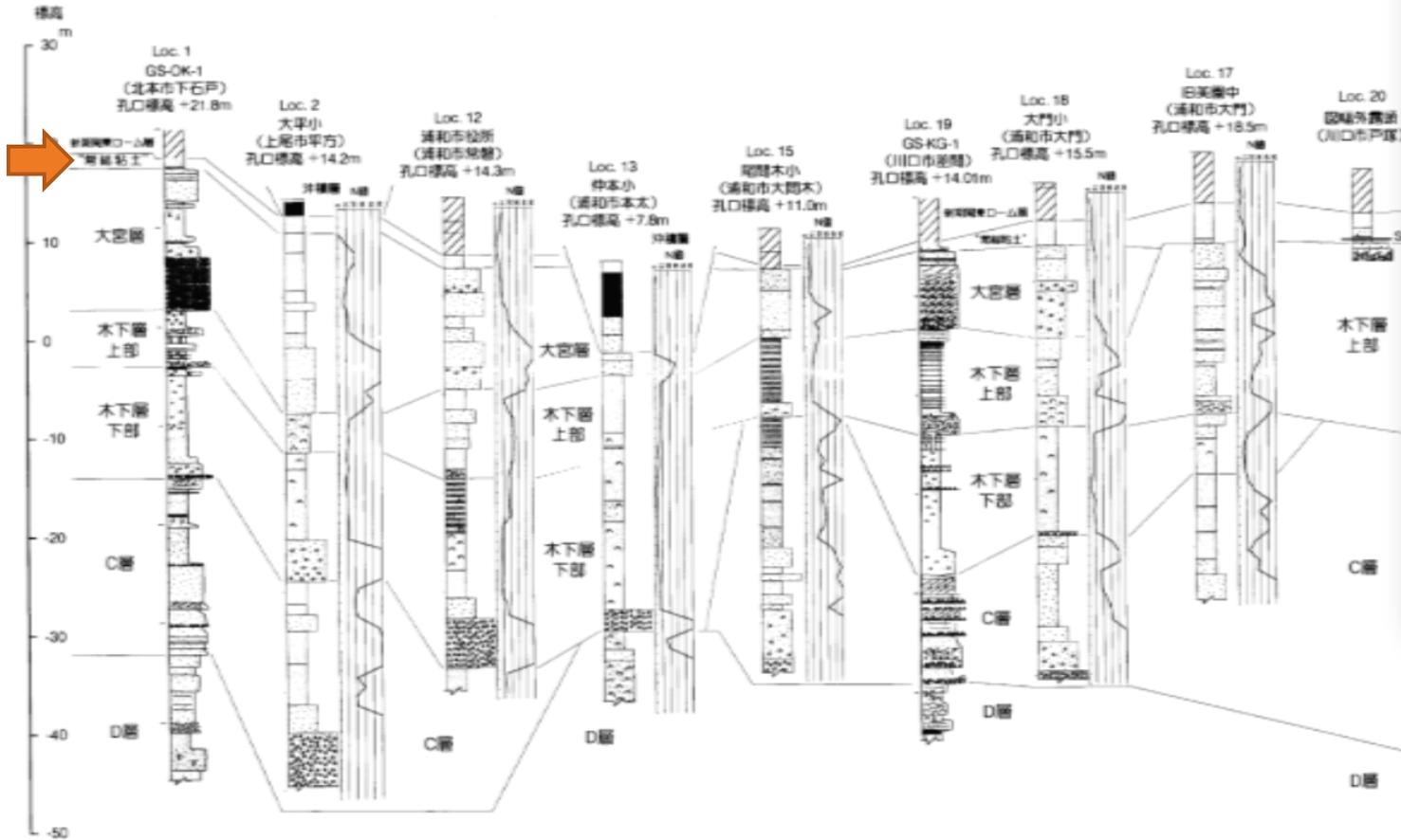
大宮地域の地質

- ▶ 新期関東ローム層の下に下総層群がある
- ▶ 下総層群は、12万年前から木下層下部、木下層上部、大宮層、常総粘土の層序で堆積している
- ▶ 木下面の場合は、大宮層が上部になく常総粘土層になっている
- ▶ 常総粘土層は、大宮台地の比較的表層に近いところに分布している

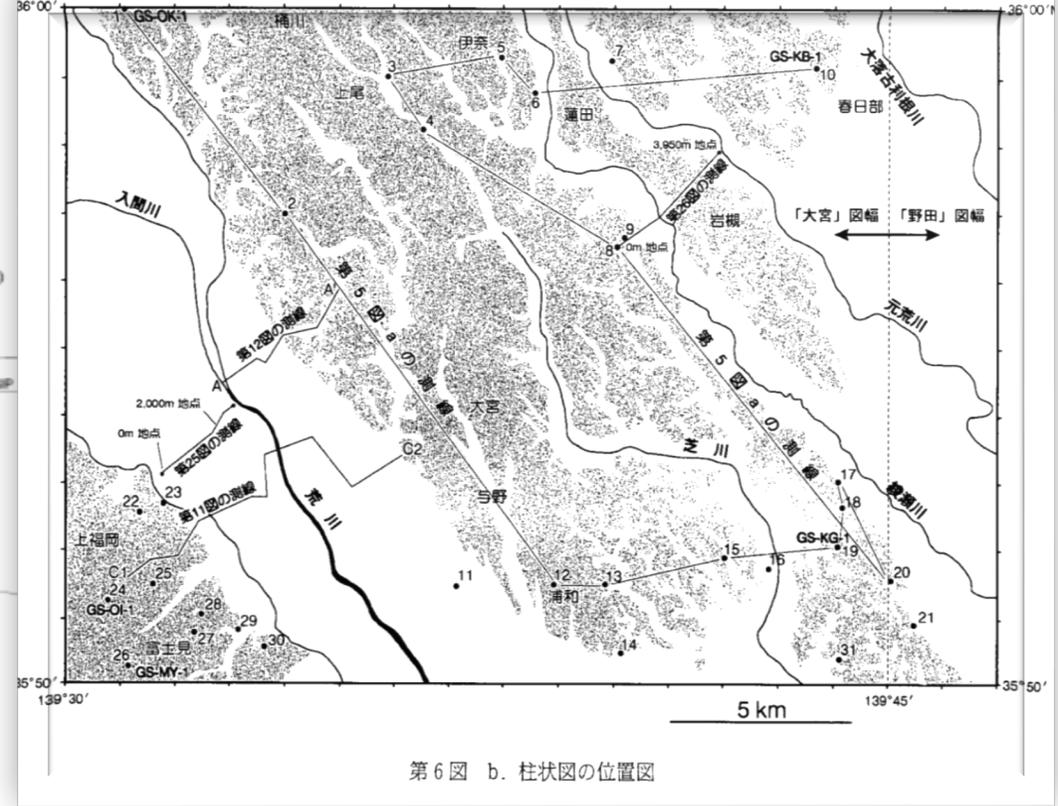
地質年代	層序区分	テリム	層相	堆積環境					
第四紀 更新世	完新世	沖積層	沖積層	泥層・砂層・砂礫層	入江 河川				
			立川段丘堆積物	砂礫層	河川				
	後期	新期関東ローム層	立川ローム層	AT	立川段丘堆積物	砂礫層	河川		
			武蔵野ローム層	TP	中台段丘堆積物	砂礫層	河川		
			赤羽段丘堆積物	砂層・砂礫層	河川				
			常総粘土	凝灰質粘土層・砂層	植物根	氾濫原			
		下総層群	大宮層 (A層)	大宮層	SIP	礫混じり 細粒～粗粒砂層	斜交層理	河川	
				木下層 (上部)	(上部)	砂泥互層	淡水棲柱状化石 リップル層理	貝	湖沼 (ラグーン)
			木下層 (下部)	(下部)	泥層・砂質泥層 砂礫層	貝	入江 河川		
			C層	C層	Ky3	泥層 (砂層を挟む) 砂礫層	植物根	氾濫原・河川	
				D層	(上部)	細粒～中粒砂層	平行層理 Macaronichnus 斜交層理 平行層理	貝	後浜・前浜 上部外浜 下部外浜
					(中部)	砂質泥層・泥質砂層	貝	ラグーン	
	(下部)	泥層・砂礫層			植物根	氾濫原・河川			
	E層	(上部)	細粒～中粒砂層	平行層理 Macaronichnus 斜交層理 平行層理	貝	後浜・前浜 上部外浜 下部外浜			
		(中部)	砂質泥層・泥質砂層	貝	ラグーン				
		(下部)	泥層・砂礫層		氾濫原・河川				
F層		F層	細粒～中粒砂層 あるいは泥層・砂礫層		海浜 氾濫原・河川				

第5図 「大宮」図幅地域の層序総括図

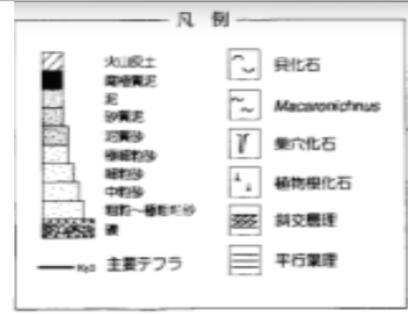
大宮地域の地質



第6図 a. 大宮台地における標高約-50mまでのボーリング柱状図とN傾
 Loc. 1, 10, 19は本図編調査で実施した層序ボーリング, Loc. 2, 3, 4は上尾市所有資料, Loc. 12, 13, 15, 17, 18は浦和市所有資料, Loc. 5, 6は伊奈町所有資料, Loc. 8は埼玉県地質調査所(1996)に基づき柱状図作成.

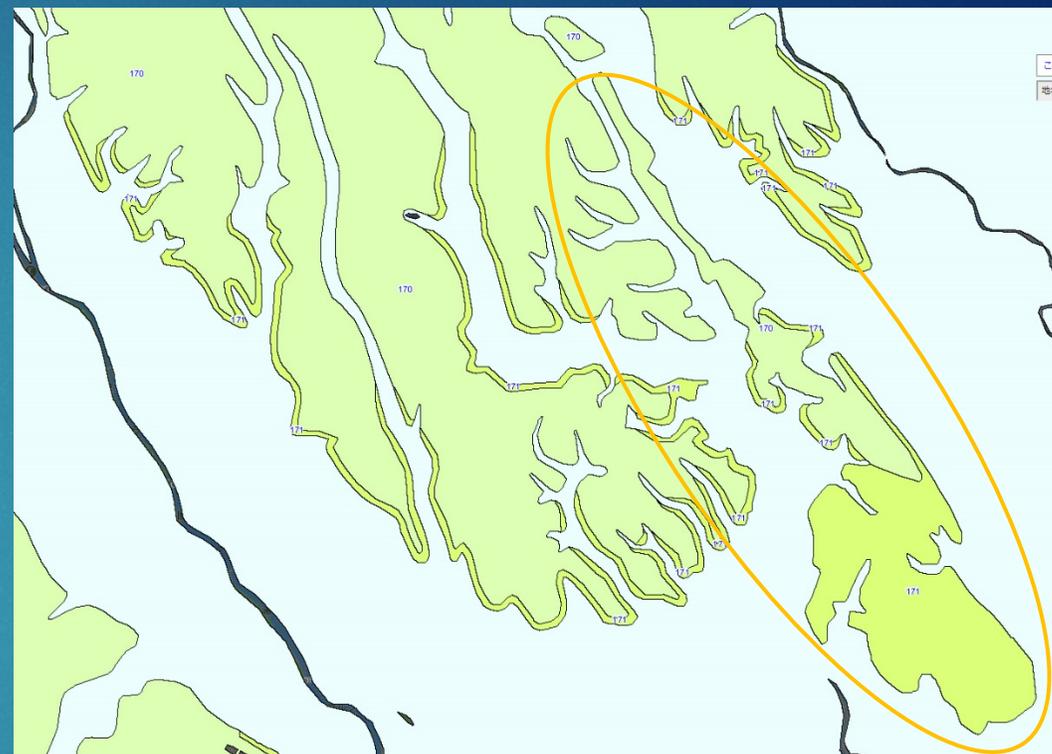


第6図 b. 柱状図の位置図



安行台地（大宮台地鳩ヶ谷支台） の魅力・地形

- ▶ 起伏にメリハリがある（木下面）
 - ▶ 樹枝状の谷の中に蛇行河川がある
 - ▶ 台地は痩せ尾根になっている
-
- ▶ 河川の延長は短く、水源から合流点まで歩ける
 - ▶ 綾瀬川断層の延長線上にある東側の崖は急である
 - ▶ 浦和美園、大門の区間で木下面から大宮面
に変わるところを歩ける



大宮面
170：川沿いの低地に分布している約7万年前～1万8000年前に形成された段丘層
地質年代：後期更新世
岩相：低位段丘 堆積物

木下面（下末吉面相当）
171：川沿いのやや高い所に分布している約15万年前～7万年前に形成された段丘層
地質年代：後期更新世
岩相：中位段丘 堆積物

安行台地南部の地形

1. 北足立台地（広義の大宮台地）の東南端に位置する
2. 南部は木下面、北部は大宮面で構成されている
3. 南部は台地が細尾根になり、複数の入り組んだ谷を持つ
4. 東の段丘涯は直線的で急峻である
5. 南の段丘涯は比高がある
6. 東に奥東京湾、西に古入間湾
7. 縄文時代に海進の影響を長く受ける（海進のピークは縄文時代前期の約7000年前、新郷貝塚は縄文時代後期）



安行台地南部の魅力～写真



日光御成道の横にある町屋のスリバチ



日光御成道の蛇行する坂



赤山陣屋・出丸の谷



前野宿川の蛇行河川



貝塚落しの谷

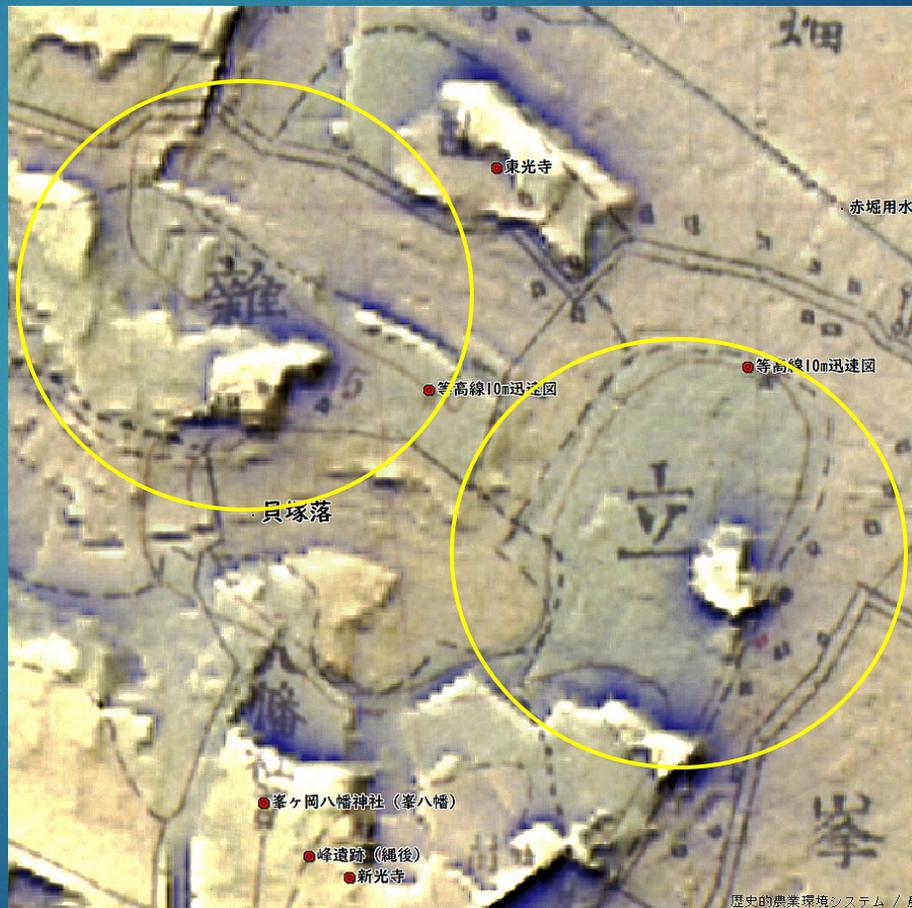
安行台地南部の魅力～歴史、地理

- ▶ 台地の上に旧石器遺跡、縄文遺跡が多い
- ▶ 貝塚遺跡が多く、特に縄文後期、晩期の貝塚が分布する
- ▶ 古墳は台地の南を流れる毛長川に分布する
- ▶ 鎌倉街道中道、後の日光御成道が通る（大門付近から北は踏襲せず）
- ▶ 中世の小規模な城（館）が分布している
- ▶ 江戸時代初期の赤山陣屋は、台地の谷頭の集まる自然の要害にある
- ▶ 赤堀用水は、西側の見沼代用水から取水され、台地の東側に切り通されている
- ▶ 天久保用水は、戦国時代末期とも江戸時代初期に作られたと言われ、同様に台地を切り通されている
- ▶ 昔ながらの谷戸は今も造成され続けている

消えた台地・残丘 I ～貝塚落し



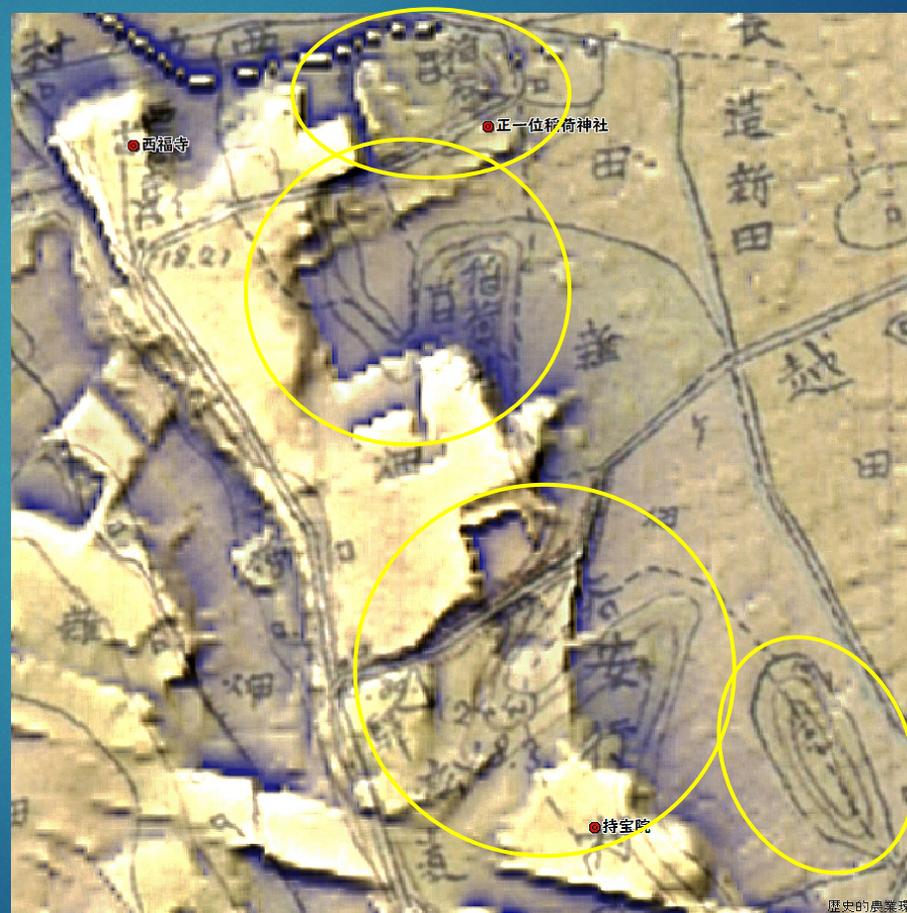
カシミール3Dスーパー地形セットで作成



カシミール3Dスーパー地形セットに関東平野迅速測図を合成

- ▶ 残丘の様な地形が準用河川・貝塚落しの南にある
- ▶ 迅速測図を見ると、現代の残丘は元々、舌状台地の一部であったことが分かる
- ▶ 西側の岬も削られたことが分かる

消えた台地・残丘Ⅱ～戸塚安行駅付近



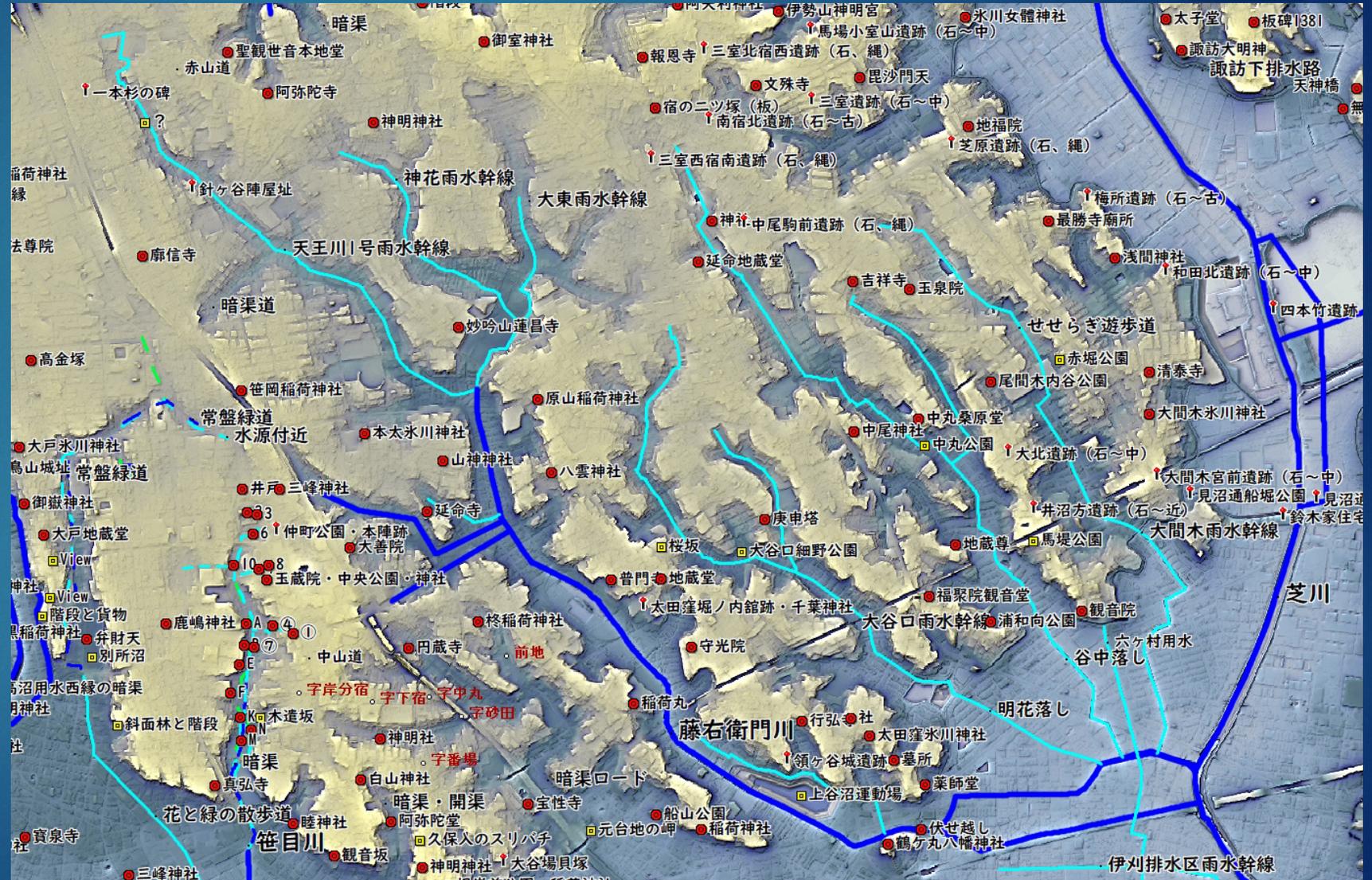
- ▶ 平坦な所に正一位稲荷神社が立地しており違和感を感じる
- ▶ 調べてみると、稲荷は削られた岬にあり、現在の立地も土取りされている
- ▶ 南を見ると、台地は削られ、残丘も消滅している

カシミール3Dスーパー地形セットで作成

カシミール3Dスーパー地形セットに関東平野迅速測図を合成

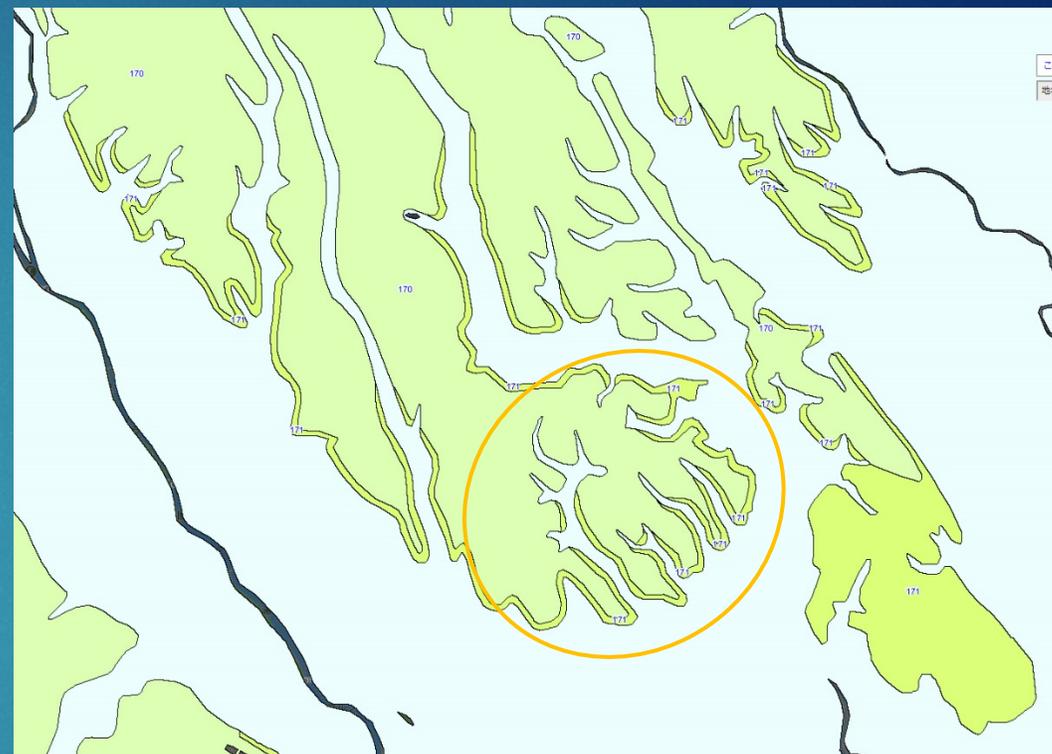
大宮台地（東浦和～南浦和）の中小河川

- 一級河川・芝川
- 一級河川・藤右衛門川
 - 天王川1号雨水幹線
 - 神花雨水幹線
 - 大東雨水幹線
- 大谷口雨水幹線
 - 明花落し（川口市）
- 中尾5号雨水幹線
 - 谷中落とし（川口市）
- 大間木雨水幹線
 - 赤堀排水（川口市）



大宮台地南部（南浦和～東浦和） の魅力・地形

- ▶ 内陸部は台地の起伏が緩やか（大宮面）
 - ▶ 小河川が樹枝状に分布する
 - ▶ 台地は痩せ尾根になっている
-
- ▶ 流路はやや南東方向に傾いている
 - ▶ 台地の南、南東へ向かう流路は、北や東へ向かう流路に比べて長くなっている
 - ▶ 南部の崖は、比較的急峻である（波蝕台なのか？）

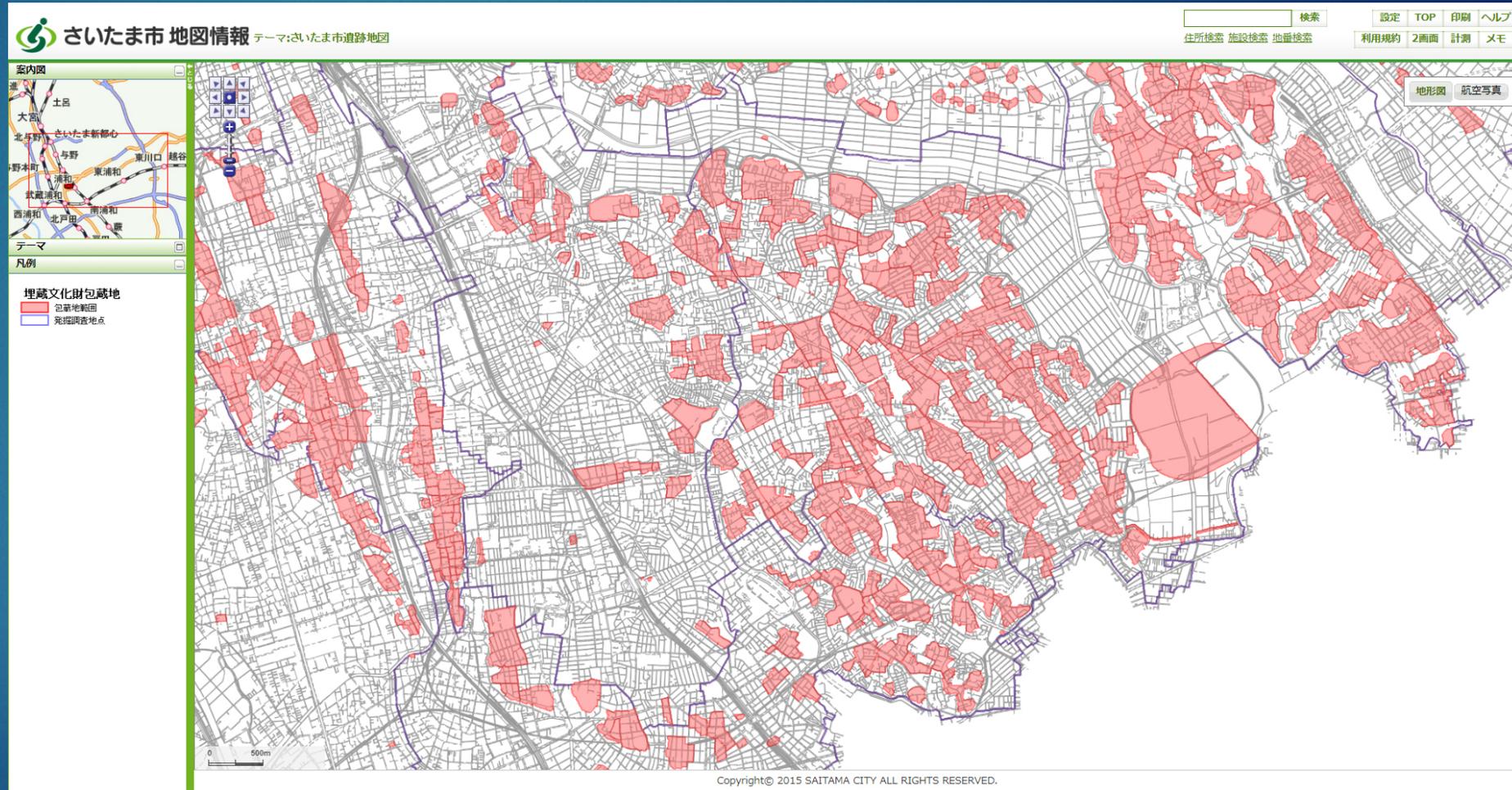


大宮面
170：川沿いの低地に分布している約7万年前～1万8000年前に形成された段丘層
地質年代：後期更新世
岩相：低位段丘 堆積物

木下面（下末吉面相当）
171：川沿いのやや高い所に分布している約15万年前～7万年前に形成された段丘層
地質年代：後期更新世
岩相：中位段丘 堆積物

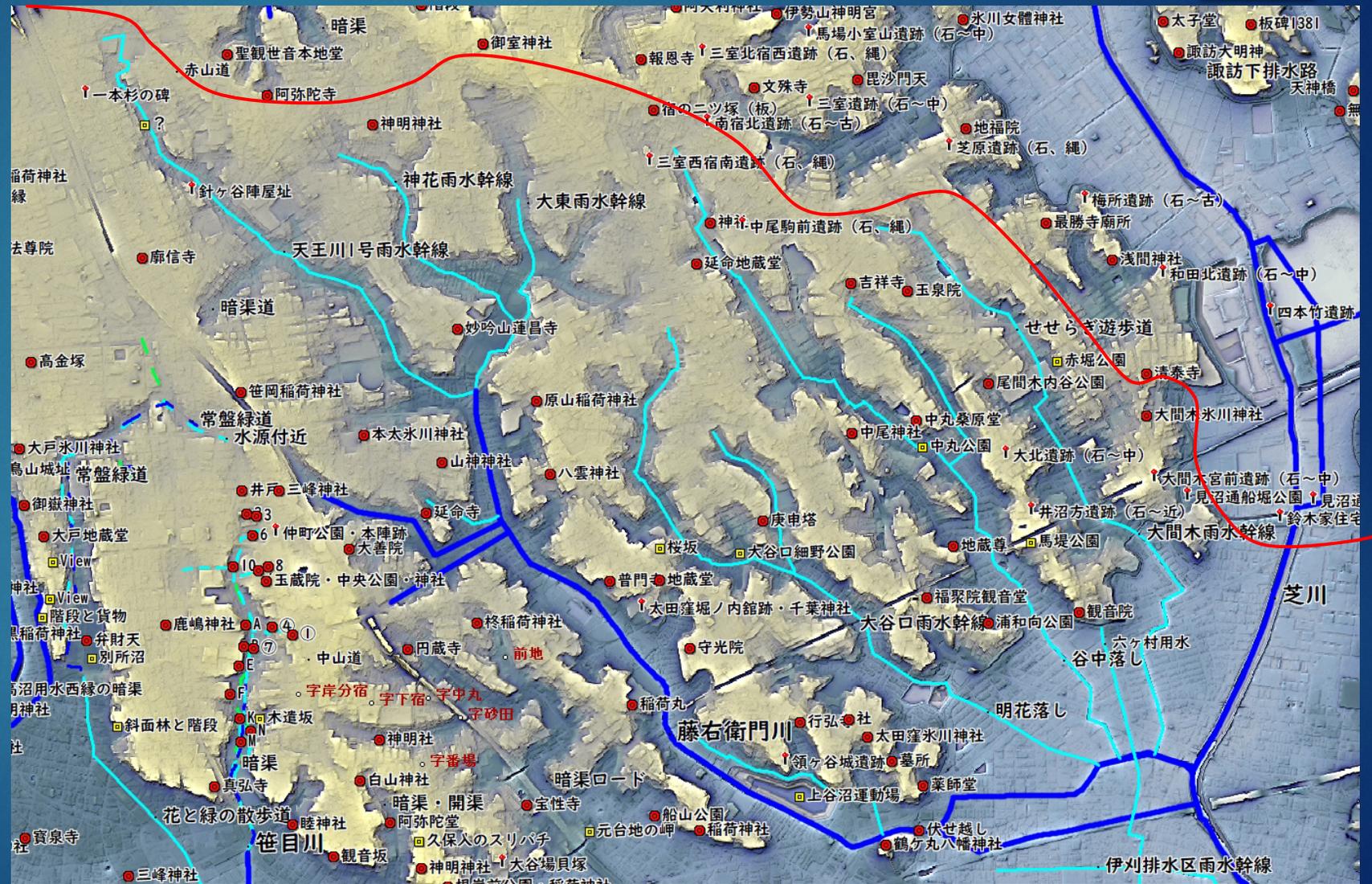
大宮台地（東浦和～南浦和）の歴史

1. 旧石器、縄文時代の遺跡は台地の外輪に分布する
明花遺跡は3万年前
2. 関東地方の特色であるが弥生時代中期までの遺跡は少ない
3. 古墳はないが前身である弥生時代の方形周溝墓遺跡が発掘されている
(井沼方遺跡)



大宮台地（東浦和～南浦和）の歴史

1. 旧石器、縄文時代の遺跡は台地の外輪に分布する
(明花遺跡は3万年前)
 2. 関東地方の特色であるが弥生時代中期までの遺跡は少ない
 3. 古墳はないが弥生時代の方形周溝墓遺跡があった
(井沼方遺跡)
 4. 江戸時代に整備された赤山道は分水嶺付近を通る
(八丁堤で対岸へ)
- ※赤い線は、尾根上に線を引いた結果（正確な赤山道の道筋ではない）
5. 八丁堤は見沼の幅が細くなった所に作られた



大宮台地（東浦和～南浦和）の谷と出口



大間木雨水河川(赤堀排水)
せせらぎ緑道（暗渠）



中尾5号雨水幹線（谷中落し）
武蔵野線の高架下を通る（暗渠）



大間木雨水河川(赤堀排水)
井沼方公園の開渠部分
武蔵野線が見える

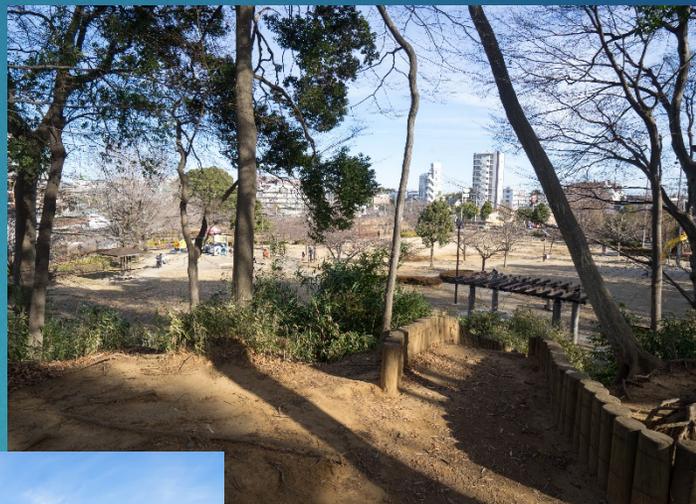


中尾5号雨水幹線（谷中落し）
見沼代用水路手前の伏せ越し設備（暗渠）

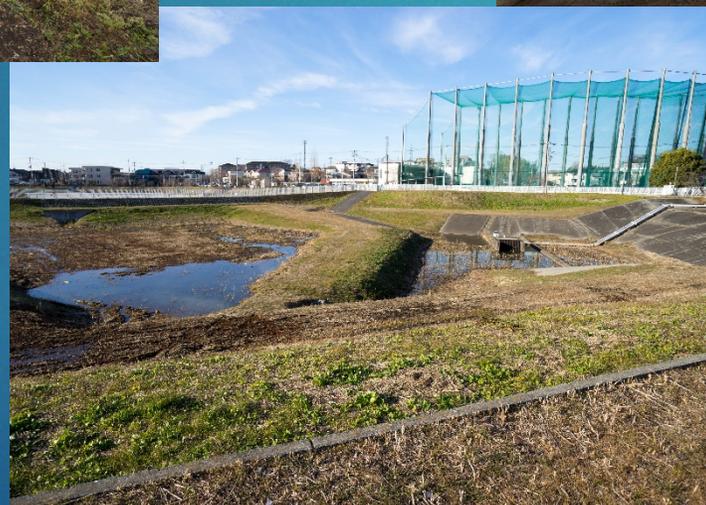
大宮台地（東浦和～南浦和）の谷と出口



大谷口雨水幹線（明花落し）
上流部の支流にあたる流路



削り残された台地の名残
井沼方公園

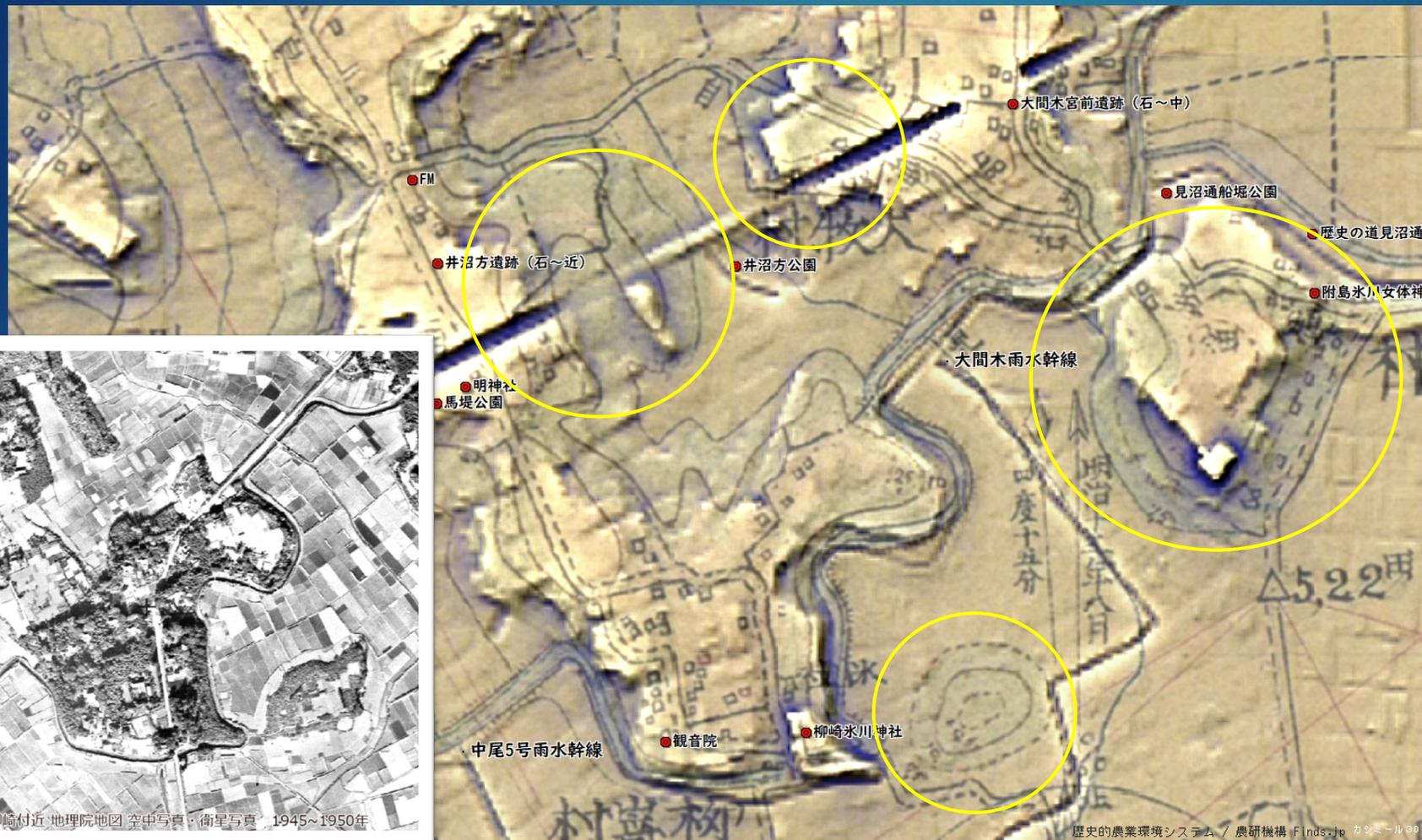


大谷口雨水幹線（明花落し）
大谷口調整池



削り残された台地の名残
井沼方公園

消えた台地・残丘Ⅲ～東浦和駅付近



- ▶ 見沼代用用水が縁を流れる柳崎の東に残丘がかつてあった
- ▶ 附島の台地が削れている
- ▶ 井沼方公園の東の台地が削られ一部残っている
- ▶ 井沼方公園の西の台地が大幅に削られ一部残っている
- ▶ この図にはないが北側にある「浦和東部第二地区8号公園」の高台は、台地が削り残された跡である
- ▶ 同様にこの図の西に位置する明花公園の高台は、削り残された台地の先端である

カシ米尔3Dスーパー地形セットに関東平野迅速測図を合成

南浦和から武蔵浦和の崖線～写真



中山道の横にある久保入のスリバチ



台地の南端部



睦神社の参道 (男坂)



中山道 焼米坂

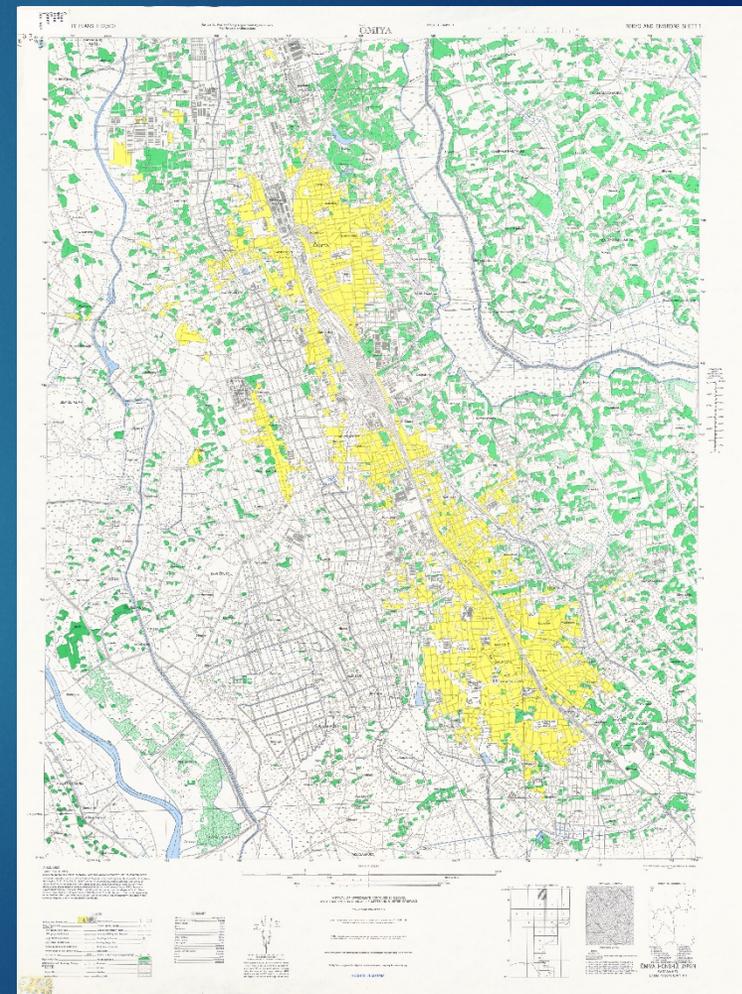
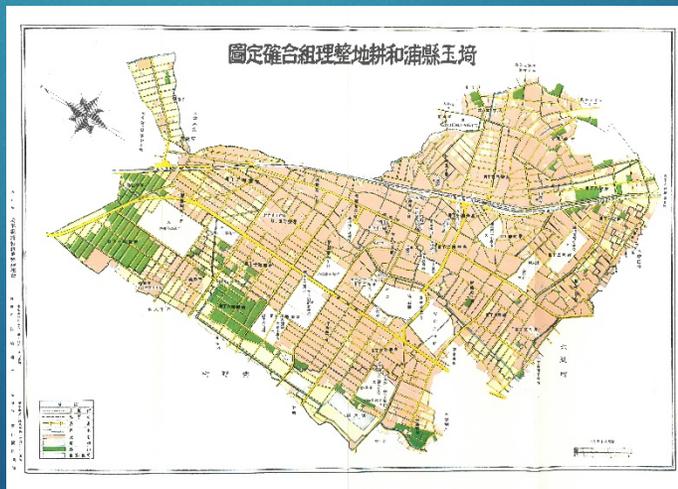


南浦和小の坂

浦和の裏は!? 二本の谷を上から下、下から上へ (SSS30th) 古の流路を推定する~浦和川 (仮)

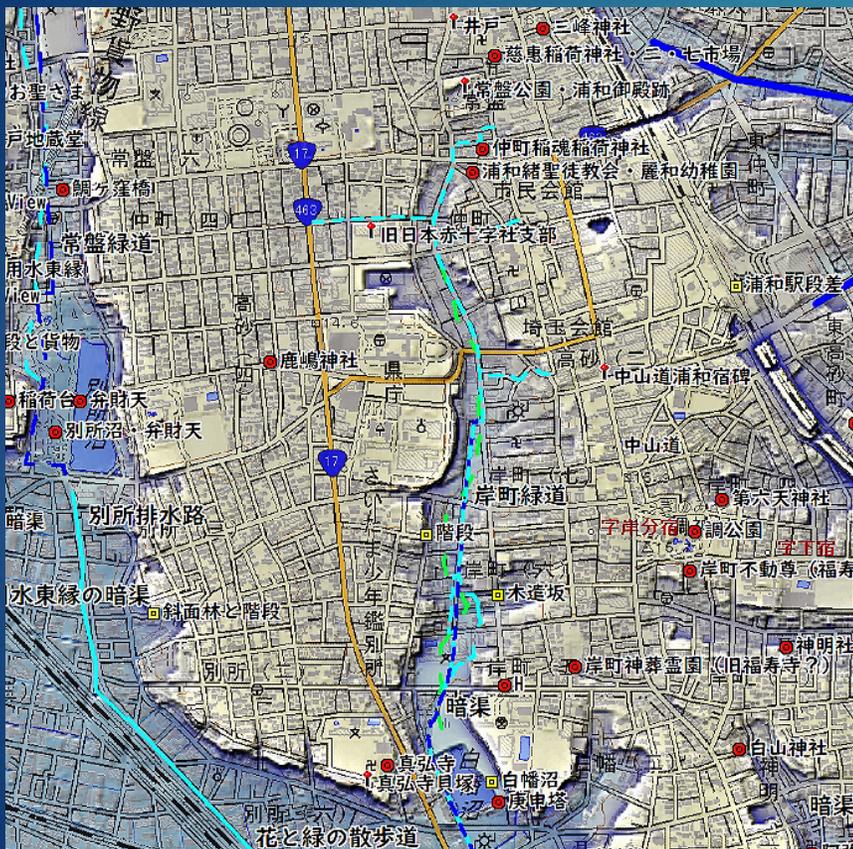
- ▶ 浦和駅と埼玉県庁の間の谷にかつて川が流れていたはずと仮定
- ▶ 水源から台地の出口まで半日で歩ける距離
- ▶ 谷底に流れた水の記録は少ない
- ▶ 参考地図

1. 埼玉県浦和耕地整理組合原型図
(浦和市史 第4巻Ⅱ 近代史料編) 大正11年 (1922)
2. 埼玉県浦和耕地整理組合確定図
(浦和市史 第4巻Ⅱ 近代史料編) 昭和9年 (1934)
3. テキサス大学所蔵 Japan City Plans 1:12,500 U.S. Army Map Service, 1945-1946 [Omiya]
http://legacy.lib.utexas.edu/maps/ams/japan_city_plans/
4. 地理院地図 空中写真1945



浦和の裏は!? 二本の谷を上から下、下から上へ (SSS30th) 古の流路を推定する~浦和川 (仮)

地形



カシミール3Dスーパー地形セットに独自の河川データと国土数値情報(統一フォーマット(SHP・GML))河川台帳データを合成



中流部 (岸町緑道の上流側)



下流部 (白幡沼の上流側)



白幡沼 右岸



中流部 左岸

浦和の裏は!? 二本の谷を上から下、下から上へ (SSS30th) 古の流路を推定する~浦和川 (仮)

水源付近の痕跡



埼玉県浦和耕地整理組合原型図より抜粋 (浦和市史 第4巻Ⅱ 近代史料編)



防災用井戸



常磐公園 (源流付近)

旧地方裁判所、浦和御殿



クランク

推定流路は基本的に道になっているが、駐車場になっている所がある

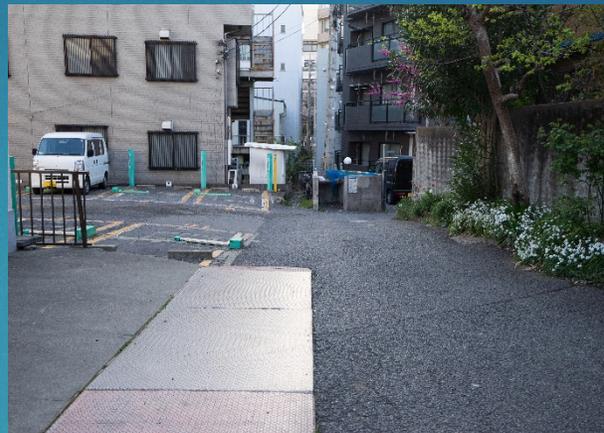


谷底の道

蛇行した道は埼玉県庁の横を通る

浦和の裏は!? 二本の谷を上から下、下から上へ (SSS30th) 古の流路を推定する~浦和川 (仮)

排水路の痕跡



排水路跡

玉蔵院、稲荷湯横の道



排水路跡

稲荷湯横の道から蛇行した道



排水路跡

旧日本赤十字社支部横

浦和の裏は!? 二本の谷を上から下、下から上へ (SSS30th) 古の流路を推定する~浦和川 (仮)

高砂 2、3丁目の支流？

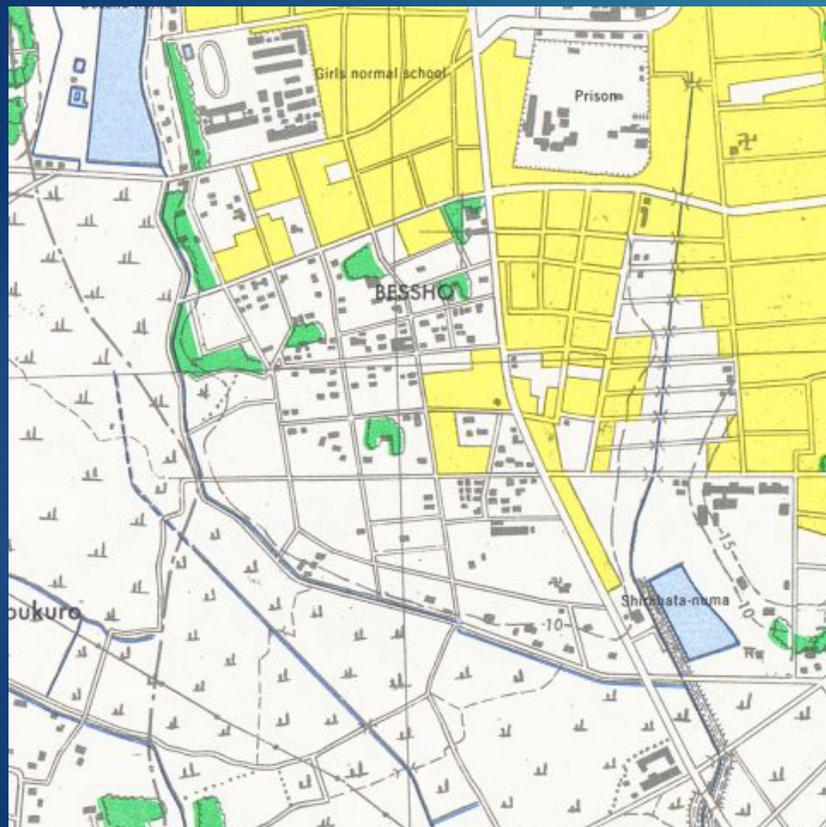


浦和 (仮) に合流する直前は
駐車場になっていた

浦和の裏は!? 二本の谷を上から下、下から上へ (SSS30th) 古の流路を推定する~浦和川 (仮)

浦和 (仮) に合流する直前は
駐車場になっていた

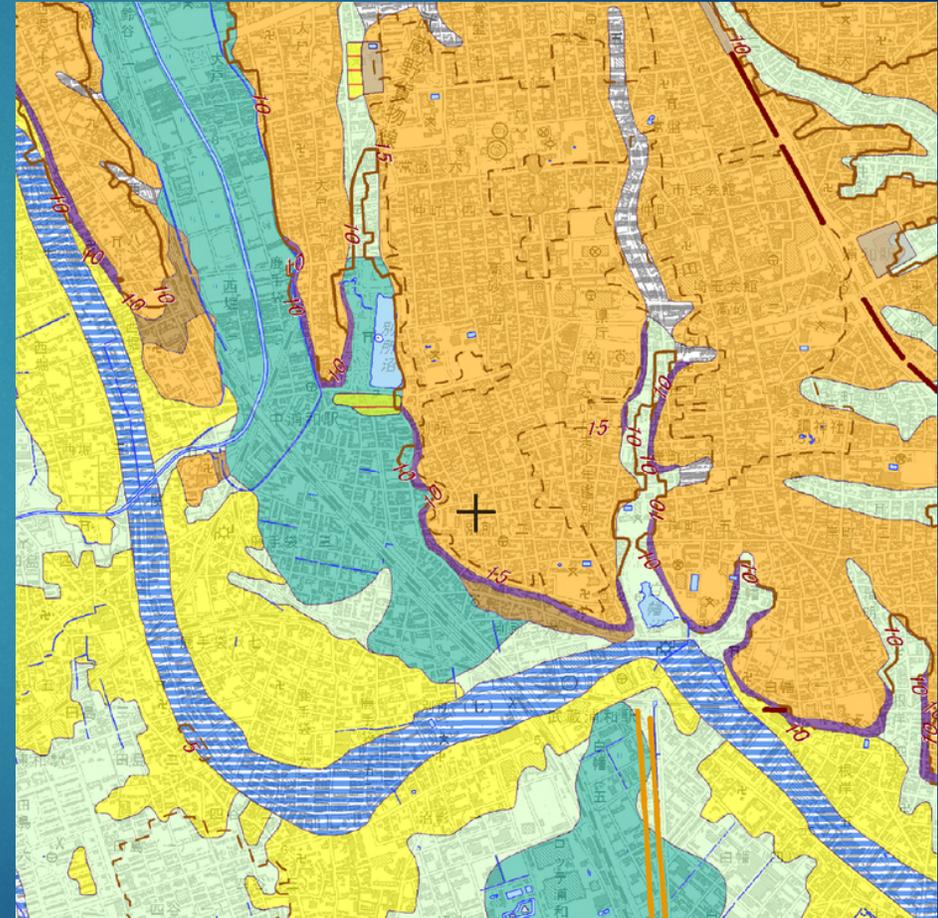
埼玉県浦和耕地整理事業で直線化された流路



浦和の裏は!? 二本の谷を上から下、下から上へ (SSS30th)

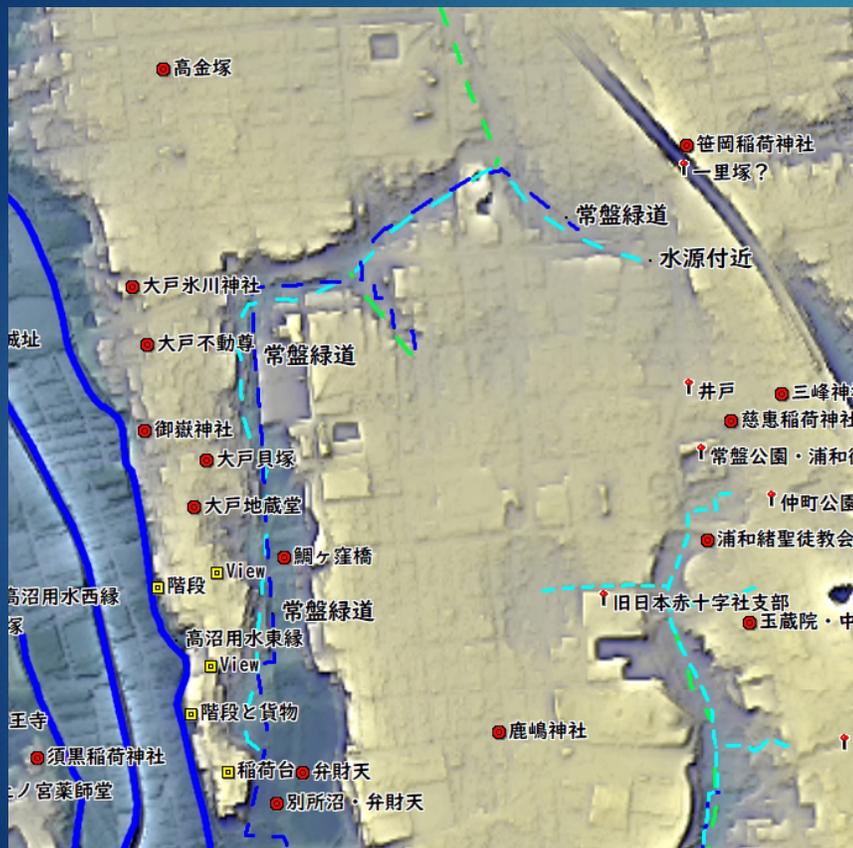
古の流路を推定する~旧河道が堰き止めた沼

- ▶ 白幡沼は、旧流路が台地に接近した所に位置している
- ▶ 河川が運んだ堆積物が谷の出口を塞ぎ沼地になったと考えられている
- ▶ 周辺には縄文遺跡、貝塚遺跡、さいたま市最大級の板碑を有する古刹がある
- ▶ 凡例
 - ▶ 橙色：段丘涯、紫：崖
 - ▶ 黄色：扇状地・氾濫平野>微高地（自然堤防）
 - ▶ 薄い青：氾濫平野
 - ▶ 青緑色：氾濫平野>後輩湿地
- ▶ 参考地図
国土地理院地理院地図 治水地形分類図 更新版



浦和の裏は!? 二本の谷を上から下、下から上へ (SSS30th) 古の流路を推定する~常盤川 (仮)

地形



カシ米尔3Dスーパー地形セットに独自の河川データと国土数値情報(統一フォーマット(SHP・GML))河川台帳データを合成



別所沼



別所沼の谷

別所沼の歴史

関東大震災後に文化人が鹿島台に移り住む。「鎌倉文士に浦和画家」

大正15年(1926) 小島長次郎が土地購入、遊園地「昭和園」の造園開始

昭和2年(1927) 別所沼弁財天(洲崎神社より勧請)

戦後まで「村岡牛乳」の牧場があった。

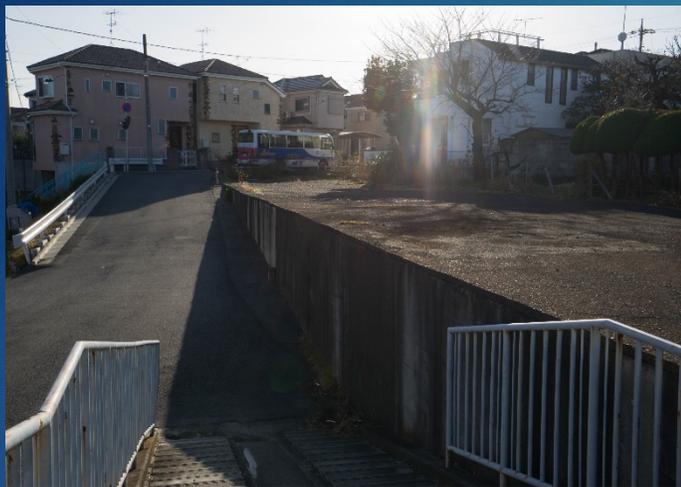


稲荷台から鴻沼を臨む

浦和の裏は!? 二本の谷を上から下、下から上へ (SSS30th)

古の流路を推定する~武蔵野貨物線

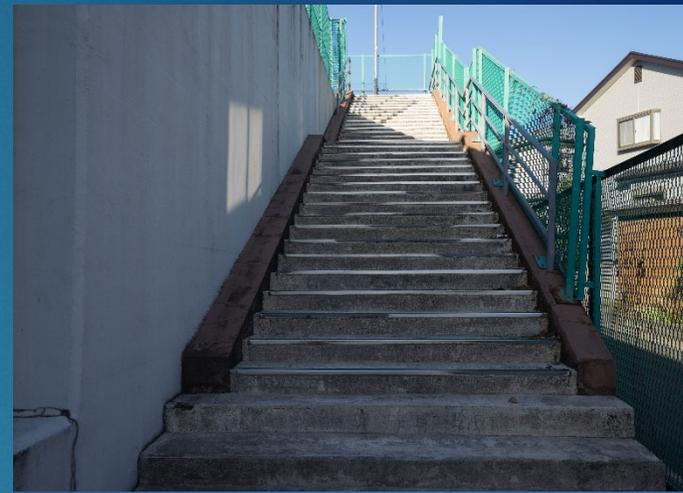
地面から飛び出る武蔵野貨物線



トンネルが町を分断する

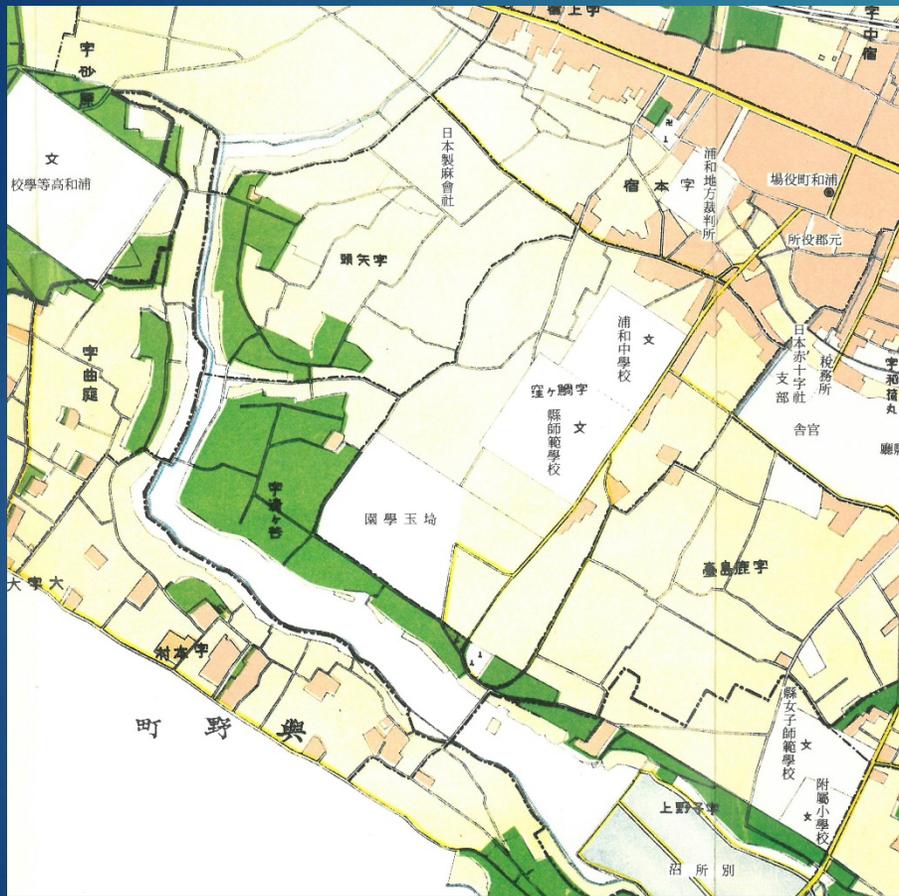


トンネルの上へ、再び台地の地下へ消える

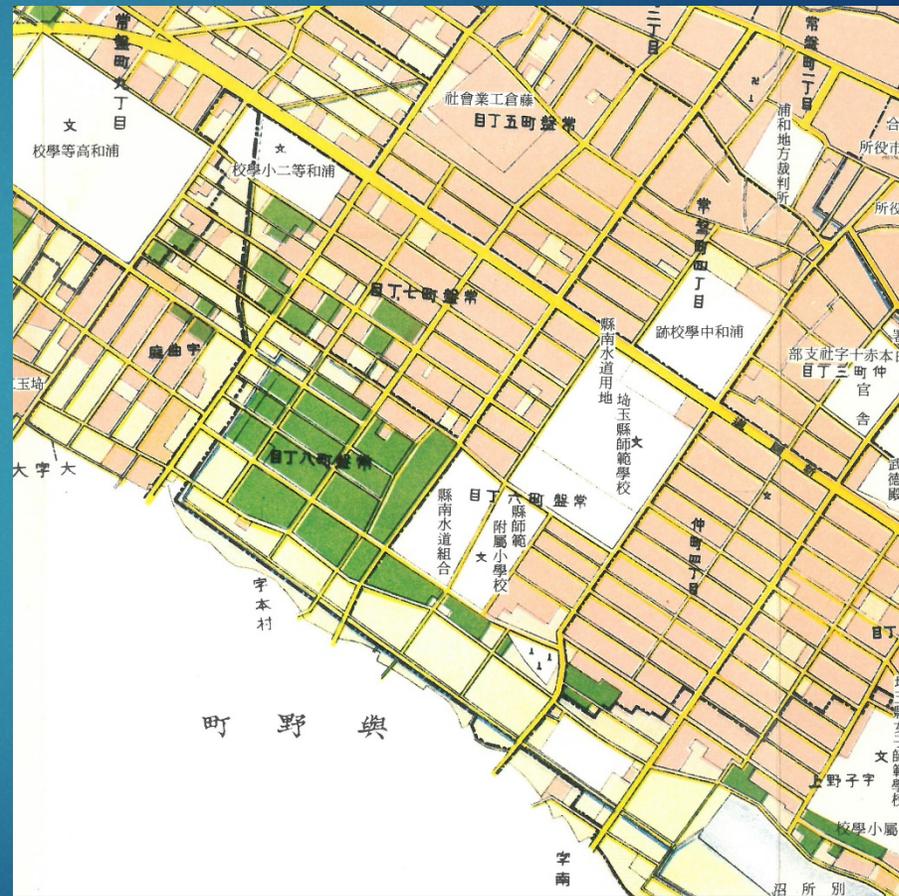


浦和の裏は!? 二本の谷を上から下、下から上へ (SSS30th) 古の流路を推定する~常盤川 (仮)

埼玉県浦和耕地整理組合原型図より抜粋 (浦和市史 第4巻Ⅱ 近代史料編)

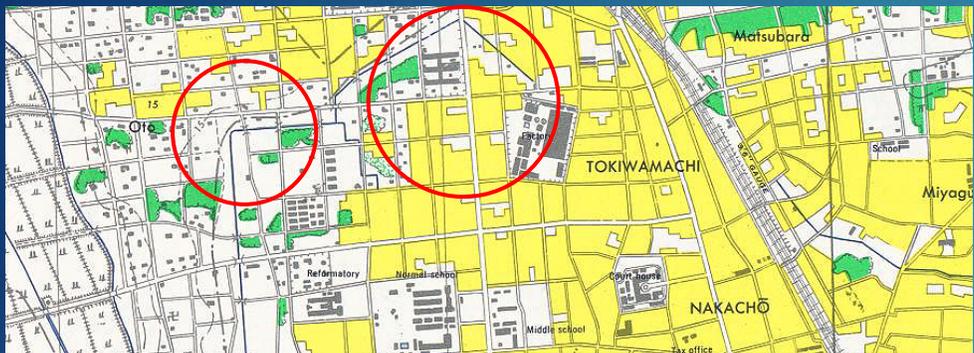


埼玉県浦和耕地整理組合原型図より抜粋 (浦和市史 第4巻Ⅱ 近代史料編)



埼玉県浦和耕地整理組合確定図より抜粋 (浦和市史 第4巻Ⅱ 近代史料編)

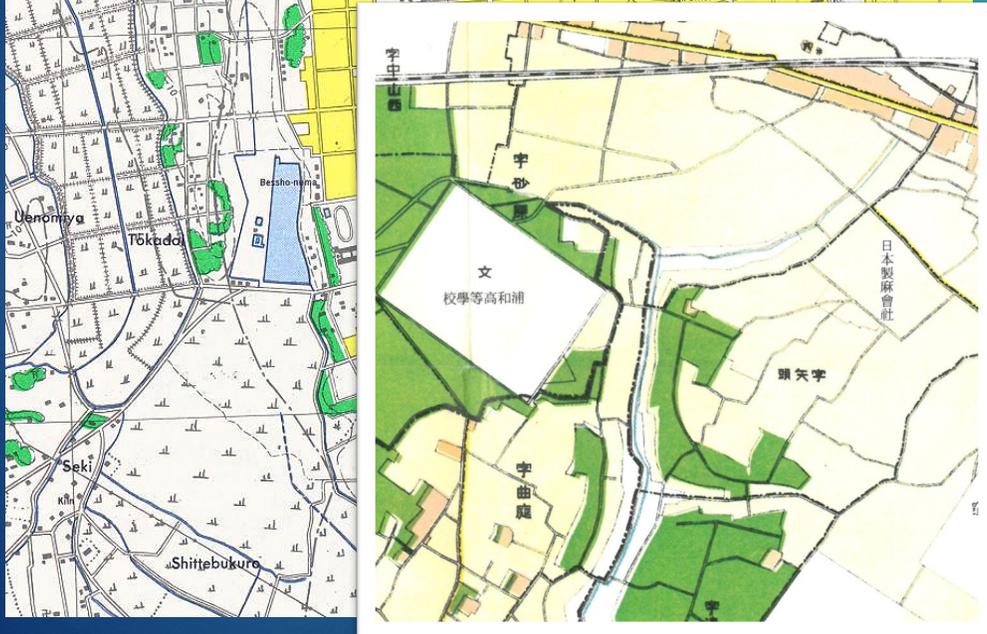
浦和の裏は!? 二本の谷を上から下、下から上へ (SSS30th) 古の流路を推定する



常盤緑道 東へ曲がるころ



常盤緑道 「へ」の字の遊歩道



水源付近



水源付近

テキサス大学所蔵 Japan City Plans 1:12,500
U.S. Army Map Service, 1945-1946 (Omiya J
から抜粋、加工
http://legacy.lib.utexas.edu/maps/ams/japan_city_plans/

埼玉県浦和耕地整理組合原型図より抜粋
(浦和市史 第4巻Ⅱ 近代史料編)

好奇心というエンジン

- ▶ 好奇心は行動を促す（人間は行動が先で、思考は後からついて来る）
- ▶ 行動は次の好奇心へ導く（「なぜ5回」再発防止対策・原因追求の手法）
- ▶ 読書と健康寿命（NHK「AIに聞いてみた どうすんのよ！？ニッポン」）
- ▶ 好奇心が強い人は、自発的に行動し、サステイナブルなエンジンを持つ

知的好奇心の考察

- ▶ （デジタル大辞泉）好奇心＝珍しいことや未知のことなどに興味をもつ心
- ▶ 知的とは...知識、知性、脳の働き
- ▶ 「知的+好奇心」...知識、分析、行動をベースに世間を認識する
- ▶ 世の中のほとんどの事は、仮説である

例) 歴史の教科書は書き換えられる、地形、地質の解釈は更新されていく

街歩き = 果てしのない、体を使った知の遊び

【遺題継承】

なぜ、埼玉に大河が流れるのか？

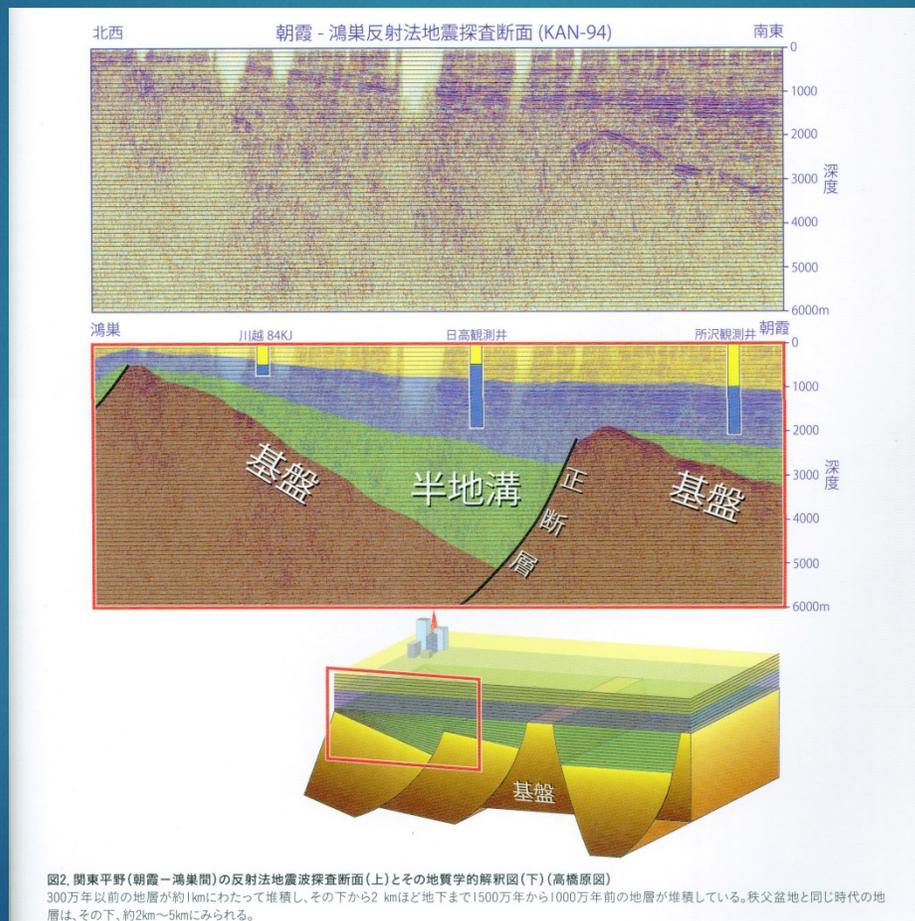
～埼玉平野の地下

▶ 埼玉平野の地下を知れば、その理由が見えるかもしれない

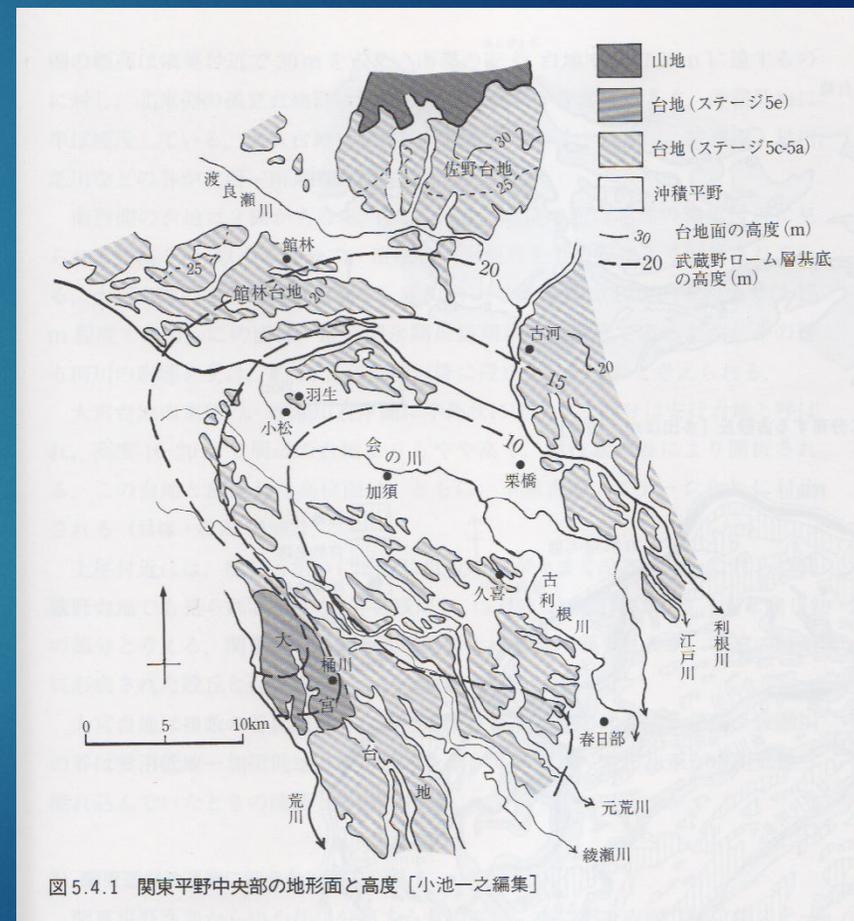
1. 中央構造線
2. 半地溝帯
3. 関東造盆地運動
4. 埼玉平野の断層

▶ 地形は常に変化している

▶ 色々と調べてみてください！



「秩父盆地の形成と関東平野の成り立ち」高橋雅紀(産業技術研究所)『古秩父-秩父の台地に眠る太古の海の物語-』(埼玉県自然博物館) P.47より転載



関東平野中央部の地形面と高度の図(小池一之氏編集)。図中央の加須拭きを中心に沈下する関東造盆地運動の様子が分かる『日本の地形4 関東・伊豆小笠原』(貝塚爽平ほか編、東京大学出版会)より転載